

富山ユネスコ70年への歩み

－ 至近10か年 －

富山ユネスコ協会創立70周年記念

2022（令和4）年3月発刊

目 次

1. 発刊にあたって	高木要志男	1
2. 歴代会長就任にあたって	高桑 幸一	2
	高木要志男	3
3. 担当役員が綴る10か年の活動総括と現況		
3. 1 平和の鐘を鳴らそう運動	浅野 善弘	4
3. 2 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈	大谷 博信	6
3. 3 ユネスコ科学フェスティバル	植田 浩平	7
3. 4 学生ユネスコ弁論大会	井沢 康一	8
3. 5 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展のあゆみ	大谷 弓子	10
3. 6 書きそんじハガキと世界寺子屋運動	長尾 恒憲	11
3. 7 ユネスコスクールと歩んだ10年間	水上 庄子	13
3. 8 会員交流会、県・中部西ブロック研修会	長原 好成	14
3. 9 ユネスコ活動を国際交流フェスティバルで紹介	河原 順子	15
3. 10 事務局を振り返って	定村 仁志	16
4. 資料集		
4. 1 歴代役員		17
4. 2 2021年度 役員		17
4. 3 2021年度 会員		18
4. 4 ユネスコ憲章 ～ 協会会則		
4. 4. 1 ユネスコ憲章(前文)		19
4. 4. 2 世界人権宣言(前文)		19
4. 4. 3 ユネスコ活動に関する法律		20
4. 4. 4 富山ユネスコ協会会則		22
4. 5 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展優秀作品(2012～2021年)		24
4. 6 富山ユネスコ協会70年への歩み ー至近10か年ー		
4. 6. 1 総会編		33
4. 6. 2 平和の鐘編		34
4. 6. 3 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈り編		35
4. 6. 4 ユネスコ科学フェスティバル編		36
4. 6. 5 学生ユネスコ弁論大会編		38
4. 6. 6 国際交流フェスティバル編		39
4. 6. 7 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展編		39
4. 6. 8 書きそんじハガキ回収編		41
4. 6. 9 ユネスコスクールESD部会編		42
4. 6. 10 会員の交流編		47
(会員交流会、富山県・中部西ブロック活動研修会、ユネスコ全国大会)		
4. 6. 11 広報編		51
4. 6. 12 人物往来他		52

発刊にあたって

富山ユネスコ協会
会長 高木要志男

会員の皆様はもとより、多くの関係の皆様のご協力とご支援のもと、富山ユネスコ協会が70年の長きにわたり地道に活動を継続できましたことに感謝申し上げ、皆様とともに喜び合いたいと思います。とりわけ、富山県、富山県教育委員会、富山市、富山市教育委員会、日本ユネスコ協会連盟、関係諸団体におかれましては、富山ユネスコ協会の創設以来、深いご理解とともに、多方面からのご支援、ご協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

我が国では、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の設立から間もない1947（昭和22）年、ユネスコ加盟を待たずして、ユネスコ憲章の精神に共鳴した仙台の地元有志により、世界初の民間ユネスコ団体が発足しました。その後、わたしたちの富山ユネスコ協会も含め、日本各地に多数のユネスコ協会が創設されました。富山ユネスコ協会創設の1951（昭和26）年、我が国はこうした民間の動きに呼応し、ユネスコに加盟しました。これは、1956（昭和31）年の国連加盟に先立つものであり、ユネスコは、我が国が戦後初めて加盟した国連機関でありました。ユネスコは、諸国民の教育、科学及び文化の協力、交流を通じた国際平和と人類共通の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。

富山ユネスコ協会では、この間、未来の日本、世界の担い手となる児童生徒を対象として、「学生ユネスコ弁論大会」、「わたしの町のたからもの絵画展」、「ユネスコ科学フェスティバル」などの活動を実施してまいりました。加えて、世界遺産を守る活動の一環として、「五箇山相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、世界寺子屋運動の一環として、「書きそんじハガキ回収」に活発に取り組んでまいりました。こうした諸活動を通じて、会員、学校、地域、団体、企業からの積極的なご協力を得ることができました。わたしたちは、尊いユネスコ精神を基底として、人々のつながりや地域性を活かした民間ならではの「草の根運動」を展開してきたことをあらためて誇りに思います。

また、1974（昭和49）年には氷見ユネスコ協会の創立、2011（平成23）年には南砺ユネスコ協会の創立を機に、富山ユネスコ協会も含めて3団体が共に協力しながらユネスコ活動を展開してまいりました。1975（昭和50）年に設立した「富山県ユネスコ連絡協議会」では、情報交換等により互いの活動に学び合う機会を得ています。これからも、富山県全体にユネスコ活動が根付くよう力を合わせて取り組んでまいります。

本記念誌は、60周年以降の10年間に特化し、私たちの歩みを綴ったものであります。この2年間は、新型コロナウイルスの甚大な影響により、わたしたちの活動もかなり制限されておりますが、まずは節目の2021（令和3）年度中に発刊させていただくこととし、2022（令和4）年には、1年遅れとなりますが富山ユネスコ協会創立70周年記念大会の実施を予定しております。今後とも、富山ユネスコ協会に対するあたたかいご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、共感を得ながらユネスコ活動が広がることを祈念しまして発刊のご挨拶といたします。

歴代会長 就任にあたって

平成 26 年 4 月 19 日

第七代会長 高桑幸一

4 月 19 日の総会で、富山ユネスコ協会の会長に就任しました。

ユネスコ活動に参加させて頂いて日も浅く、まだまだ未熟者ですが、会員の皆様、地域や学校の皆様に支えて頂き、ユネスコの理念の実現に少しでも貢献出来るように努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

第二次世界大戦が終わった 1945 年にユネスコ憲章が採択され、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という前文は、平和を願う全世界の人々に希望と勇気を与えました。

日本が国際連合 UNESCO に加盟を認められたのは、それから 6 年後の 1951 年 6 月ですが、同年の 11 月 3 日に富山ユネスコ協会が創立され、以来 62 年の長きに渡り、地域や学校と一体になったさまざまな活動によって、子供達の教育や世界平和、文化の保存継承に、素晴らしい貢献をされています。

創立以来続けている「学生ユネスコ弁論大会」は、多くの生徒たちがボランティア活動や日頃体験した事を発表していますが、大人になっても地域で活躍し続ける契機になっているのではないのでしょうか。

世界平和を希求して行っている「平和の鐘を鳴らそう」運動は、二上山「平和の鐘」を中心に、各地の寺院や教会で執り行っていますが、鐘の音とともに平和の願いが届いている事でしょう。

「書きそんじハガキ回収」活動は、県内 305 校と企業、個人の協力を得て実施していますが、2004 年からの 10 年間で 28 万枚、1263 万円もの金額をユネスコ世界寺子屋運動に寄付しています。

昨年寄付先であるカンボジアの寺子屋を訪問しましたが、地域の識字率が大きく上がるなど、確実に教育レベルが向上しており、素晴らしい効果を上げていることを実感しました。

世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティアは、世界遺産を守り伝える事の重要性を再認識する機会になっています。

また、「絵で伝えよう！ わたしの町のたからもの」絵画展は、地域の文化や自然の素晴らしさを見つめ直し、未来へ引継ぐ気持ちを育んでいます。ユネスコの理念を実践する「ユネスコスクール」も 10 校になり、ユネスコ ESD パスポートを活用して、ボランティア活動を推進しておられます。

この他、「ユネスコ子ども科学フェスティバル」「世界遺産パネル展」の開催や「国際交流フェスティバル in TOYAMA」への出展など、多岐にわたる活動を実施しています。

これら多くの本当に素晴らしい活動を実施してこられた松波前会長をはじめとする諸先輩に敬意を表するとともに、これを継続・発展させていく責任の重さを感じている次第です。

ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしく願いいたします。(富山ユネスコ 5 5 号より)



■略歴

1952 年石川県金沢市生まれ。
1974 年東京工業大学電気工学科卒業、同年北陸電力(株)入社。
2004 年北電情報システムサービス(株)社長、2007 年北陸電力(株)常務取締役原子力本部副本部長、2009 年北陸電力(株)常勤監査役。
2013 年富山県セーリング連盟理事長、2014 年富山ユネスコ協会会長、2015 年美しい富山湾クラブ理事・事務局長。
2016 年北陸電力(株)退任、川田テクノロジーズ(株)社外取締役。
2018 年富山ユネスコ協会顧問。

平成 30 年 4 月 14 日

第八代会長 高木要志男

この度の総会におきまして富山ユネスコ協会の会長に就任いたしました。冒頭から私事で恐縮ですが、5年前に富山市内のユネスコスクールに勤務しておりました時、富山ユネスコ協会の歴代の会長さんをはじめ会員の皆様から真心あふれるあたたかいご支援を受けました。今もそのことを鮮明に覚えています。それを機縁に富山ユネスコ協会の一員として活動させていただいております。はなはだ未熟者ではありますが、個人及び法人の会員、県内ユネスコ協会、地域、学校、教育機関、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟等、関係各位のご理解とご協力を得て、ユネスコの尊い理念の実現に少しでも貢献できるよう努めてまいります。



全国各地に民間ユネスコ協会が発足し広がりを見せてきた時期と同じく、1951年に富山ユネスコ協会が発足いたしました。以来、67年の長きに亘り、会員は現状と将来を見据え、地域や学校と一体になった特色ある活動を通して、幼児・児童・生徒の教育、世界の平和、文化の継承等に貢献してきました。

具体的な活動としては、ボランティア活動や生き方を問い直す「学生ユネスコ弁論大会」、世界平和を希求する「平和の鐘を鳴らそう運動」、世界寺子屋運動に寄与する「書きそんじハガキ回収」、世界遺産である相倉合掌造り集落での「下草刈りボランティア」、地域の文化や自然のすばらしさを未来へと引き継ぐ「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」、この他にも「ユネスコ科学フェスティバル」「世界遺産写真展」の開催や「国際交流フェスティバル in TOYAMA」への出展などがあります。今後もよりよい活動となるよう、会員の皆様と共に推進してまいります。

また、県内の動向としては、3月11日、福野夜高祭～「災厄から復興の心」を引き継ぐプロジェクトに対し「プロジェクト未来遺産2017」登録証伝達式がありました。11月10日～11日には、南砺市福野文化創造センター「ヘリオス」で「2018年度中部西ブロック・ユネスコ活動研究会」が開催されます。中部西ブロック内のユネスコ協会との交流を図り、ユネスコ活動を考えるとてもよい機会だと思います。

最後になりましたが、これまでと同様に会員がそれぞれにできることに取り組み、たとわずかであっても生きがいを実感できるユネスコ活動となり、会員それぞれの考えや心が通じ合う富山ユネスコ協会であり続けるよう、微力ではありますが努力してまいります。どうぞよろしく申し上げます。（富山ユネスコ59号より）

■略歴

富山県生まれ。1977年3月都留文科大学文学部初等教育学科卒業。

1977年4月より2015年3月までの38年間、富山市内小学校5校に勤務。この間、富山県教育委員会指導課指導主事、富山市教育委員会学校教育課主幹、同課長、同次長を歴任。

2015年4月より株式会社富山教弘で取締役、2016年より同代表取締役。2018年4月より富山ユネスコ協会会長。2019年6月株式会社富山教弘退職。2019年7月より株式会社日教弘専務取締役。2021年12月より日本ユネスコ国内委員会委員。

3 担当役員が綴る10か年の活動総括と現況

3. 1 平和の鐘を鳴らそう運動

浅野善弘

日本ユネスコ協会連盟の「民間ユネスコ運動の日～夏のキャンペーン～」に呼応し、2004(H16)年から始めたユネスコの「平和を求める心」を広める活動です。

○メイン会場

飯田元副会長を実行委員長として、高岡二上山平和の鐘前広場で2013(H25)年まで実施されました。2013年には10回目となった事から、ご協力頂いたミヤワキ建設・佛石寺・かたかご幼稚園・富大吹奏楽部・呉山岳風会に感謝状を贈呈しました。

2014年には、天候に左右されない開催を目指してメイン会場を富山市城址公園戦災復興記念像前に変更しました。さらに、ユネスコスクールにボランティアでの協力依頼を行うとともに、開催日も「富山市民感謝と誓いのつどい」に合わせて、「富山市民感謝と誓いのつどい」に参加した小学校にも参加を呼びかけています。



戦災復興記念像前のボランティア

2017年以降は、炎天下での熱中症対策を考慮し、「富山市民感謝と誓いのつどい」の後の会場をお借りする事となり、富山国際会議場や富山市民プラザなどを会場としてきました。



国際会議場での平和宣言の唱和

2018年からは児童による発表を行っています。この年には初めて開催されたユネスコ教室で「平和について考える」をテーマとして開催されたユネスコ教室に参加した4名の児童が、それぞれ感想を発表しました。

2019年には、新庄北小学校児童による「私たちの大切にしたい平和」について発表がありました。新庄北小学校は参加に向けて、富山大空襲による被害やその後の復興、国連にある平和の鐘をつくった中川千代治さんについて事前学習して参加されました。

2020年は中止となりましたが、2021年は新型コロナウイルス対応を考慮して、奥田北小学校児童による、平和を中心テーマとしたユネスコ学習を行った感想をビデオ動画の形で発表しました。国連にある平和の鐘をつくった中川千代治さんの活動や、自分たちがこれまで行ってきた活動が、どのように平和やSDGsに繋がっているのかを考え、「シンクグローバリー、アクトローカリー」（地球規模で考えよう。足元から行動しよう）との言葉の通り、自分たちに出来る活動を実施し、周りに広げていきたいという発表でした。



奥田北小学校の児童の皆さん（ビデオ動画より）

○ サブ会場

射水市内では、澤田理事の働きかけで作道の常照寺、鏡宮の無量寺、久々湊の金像寺、久々湊の法泉寺で平和の鐘が鳴らされてきました。地域の地藏盆に合わせるなど地元の寺院や、児童会、地域の方々が参加されています。

富山市内では、野上理事の働きかけで浄土真宗本願寺派富山別院（西別院）、富山二番町教会で平和の鐘が鳴らされ、それぞれお寺に参拝された方や、教会の礼拝に来られた方々が参加されています。

2013年には各サブ会場で協力頂いた方々に感謝状を贈呈しました。



瑞現寺の鐘



西別院の鐘



上行寺ボランティア集合

2016年には、サブ会場として射水市野村の瑞現寺と、楡原の上行寺が新規会場として加わりました。水上理事が働きかけた上行寺では、ユネスコスクールの神通碧小・楡原中の子どもボランティア・地域の大人ボランティアによる協働企画・運営と多宗派の寺院の後援のもとに実施されています。

2021年のサブ会場は上行寺の1か所となりました。

3. 2 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈

大谷博信

- ・富山ユネスコ協会では、ユネスコ世界遺産である「五箇山相倉集落の合掌造り屋根葺き替え事業」を支援する為に、屋根材に使用される茅の「下草刈り」を実施して来ています。
- ・また、自然遺産、文化遺産の保護、保存について研修し、普及促進を図っています。
- ・感謝状の贈呈

この行事が10年の節目を迎えた時点で、集落内の民宿「勇助」にて「相倉合掌造り集落保存財団」と民宿「勇助」に感謝状を贈呈しました。(2014年7月)

1. 世界遺産「相倉合掌造り集落茅場の下草刈り」ボランティアの実施

茅場の下草刈りは、富山ユネスコ協会では2005(H17)年から毎年7月末に行っており、2019年で15回目を数えました。富山県内各地の小学生から高齢者まで、会員をはじめ、南砺ユネスコ協会、北陸電力、北陸電気保安協会、一般のボランティアなどから毎年約60人(延べ約900人)もの参加を得ることができました。茅場では茅が順調に生育し、その中に分け入って汗しながら茅に絡んで倒伏の原因となるフジ等のツル植物を刈り取りました。



「相倉合掌造り集落茅場の下草刈り」
茅場の前にて

- ・10月下旬からの茅の刈り取り高；1500束。
- ・下草刈り作業にかかわった茅場の面積は集落全体の茅場の四分之一(40アール)。
- ・集落には山の斜面など三つの茅場がある。

猛暑続きで熱中症が心配されましたが、水分補給を十分にしておき、無事乗り切ることができました。作業にあたっては、保存財団の作業主任から、鎌の使い方、作業手順、飲料補給の厳守などの指導を受けています。

この作業の実施により、合掌造りの伝統建築を守る取り組みの苦労や大切さについて理解を深めることが出来ました。

なお、2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。

2. 世界遺産・五箇山などについての研修

下草刈りの作業後、集落内の合掌造り民宿「勇助」において研修会を開き、幅広く地域の有識者の講話を拝聴しています。

- ・研修講話の件数 2012年から2019年まで：8件(2005年からは15件)
- ・講話の内容と講師

1. 五箇山の歴史と自然(第12回 2016年)	当協会理事(写真家)	池端 滋
2. 世界遺産の現状(第13回 2017年)	筑波大学 大学院教授	黒田 乃生
3. 五箇山の文化財(第10回 2014年)	元平村教育委員会課長	中川与志一
4. 五箇山の産業1(第11回 2015年)	ギター制作者	辻 四郎
5. 五箇山の産業2(第14回 2018年)	越中和紙伝統工芸士会会長	宮本 友信
6. 五箇山の民謡(第8回 2012年)	こきりこ唄保存会	岩崎 嘉平
7. 五箇山の観光(第9回 2013年)	南砺市観光協会五箇山副支部長	村上 幸子
8. 世界文化遺産の保守と活用(第15回 2018年)	南砺市世界遺産課課長	此尾 治和

3. 3 ユネスコ科学フェスティバル

植田浩平

2006(H18)年当時、私は北陸電力エネルギー科学館の館長をしていたところ、古田輝彦富山ユネスコ協会元会長から北陸電力エネルギー科学館ワンダー・ラボを会場に「ユネスコ活動の理解」につながる教室をさせていただけないかとの申し入れがありました。科学館では主に小学生に科学の実験や工作体験を通して科学に興味を持ってもらう活動を進めていました。ユネスコが提唱する「教育、科学、文化」推進のこころと科学館の活動が相通じるところがあり協力してほしいとのことでした。当初の教室は会長自ら講師となりユネスコ活動をパワーポイントで紹介するものでした。広く親子が楽しんでいただけるように北陸電力(株)及び科学館は全面協力し、教室形式から夏の縁日のようなイベント形式に拡充しました。その中には富山ユネスコ協会会員自ら恐竜グライダー工作の講師をしていただきました。現在のヒュンヒュンごま工作に通じています。内容の充実に合わせ名称も「ユネスコ子ども教室」から「ユネスコ子ども科学フェスティバル」そして広く社会へのユネスコ広報をめざして「ユネスコ科学フェスティバル」に変更してきました。

活動は「子どもたちの未来のために、今できること」をテーマに、科学館側で富山大学の学生を活用した科学工作ブースや実験体験などを提供していただき、富山ユネスコ協会側では活動を紹介したパネル展示とそれに関連したユネスコクイズなどの広報を担当しました。幼児も楽しんでもらえるヒュンヒュンごまなどの科学工作も盛り込みました。2017年からはユネスコスクールの小中学生にもボランティアとして参加をお願いしました。2020年度は新型コロナウイルス感染が拡大し開催中止となりましたが、2021年度は感染拡大防止を徹底し参加人数制限下で、原則富山ユネスコ協会会員のみで科学工作教室を運営しました。幼児から大人まで楽しめる「ヒュンヒュンごま」、紙コップで作った竹とんぼ「紙コプター」、大人も興味を持ってもらえるLEDや光ファイバを使った「LEDイルミネーション」の科学工作を提供し、富山ユネスコ協会活動パネルを展示しました。

今後も、子どもたちや大人の方が科学の楽しさを体験でき、富山ユネスコ協会の活動を広報する場を提供して行きます。



ユネスコ科学フェスティバル会場風景(2021)

3. 4 学生ユネスコ弁論大会

井沢康一

学生ユネスコ弁論大会は「青少年に対してユネスコ精神を普及し、基本的人権を尊重して、国際理解と国際協力の精神を高める」ことを目的に、富山ユネスコ協会創立時から続いている事業です。いずれの大会も、中、高校生ともにユネスコの精神や理念を踏まえ、「環境保全」「戦争と平和」「いじめ問題」「共生社会」「地域文化の大切さ」「異文化理解」など様々なテーマについて、自身の体験を通して考えたことを自分のことばで力強く発表し、聴衆にさわやかな感動を残してきました。

第61回目からは、以下のように開催されました。

	開催日	参加者		会場
		高学生の部	中校生の部	
第61回	2012. 10. 6	9名	11名	サンフォルテ
第62回	2013. 10. 5	12名	17名	サンシップとやま
第63回	2014. 10. 4	9名	15名	サンシップとやま
第64回	2015. 10. 3	6名	13名	サンシップとやま
第65回	2016. 10. 8	4名	10名	サンシップとやま
第66回	2017. 10. 7	12名	14名	ファーストバンク・キラリホール
第67回	2018. 10. 6	9名	13名	ファーストバンク・キラリホール
第68回	2019. 10. 5	8名	10名	ファーストバンク・キラリホール
第69回	2021. 10. 2	4名	5名	富山電気ビル（審査会場）

この10年間は、高校生の部に一人でも多く参加してもらうことが課題の一つだったように思います。第65回の高校生の参加が4名と減少したため、第66回以降は、毎回、高校や関係機関への働きかけに努めてきました。また、会場や運営面等でも特記すべきことが多くありました。

2014年10月、富山湾が、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟したことを機に、翌年の第64回からは「美しい富山湾クラブ会長賞」が新設されました。環境保全をテーマにした主張も多く、富山の美しく豊かな自然を守っていきいたいといった発表者の熱い思いが伝わる大会となりました。

第65回では、スタディツアーでカンボジアを訪れた体験をもとに教育の大切さを訴えた金澤兼資さんが高校生の部で1位に輝きました。その後、金澤さんは富山ユネスコ協会に入会し、会員一同の大きな喜びとなりました。

第66回からは前高桑会長のご尽力により、ファーストバンク・キラリホールを会場として使用させていただくことになりました。会場の変更に伴い、多くの会員に運営スタッフをお願いし、多大な協力のもと開催しました。施設設備の整った新しい会場は重厚で広々と落ち着いた雰囲気があり、例年より多く、26名の参加者がありました。応援に駆けつけた友人や先生、ユネスコスクールの小学生、多くの保護者が真剣に発表に聴き入り、熱気に満ちた素晴らしい弁論大会となりました。

第68回(2019年)から、高校生の部は、外務省及び(公財)日本国際連合協会主催の「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」県代表者選考を兼ねることになりました。それに伴い高校生8名中6名が、上記コンクールの定めたテーマ中から演題を選び、国連との関わりを視点に入れた主張をしました。審査の結果、「海洋プラスチック



高校生 8名



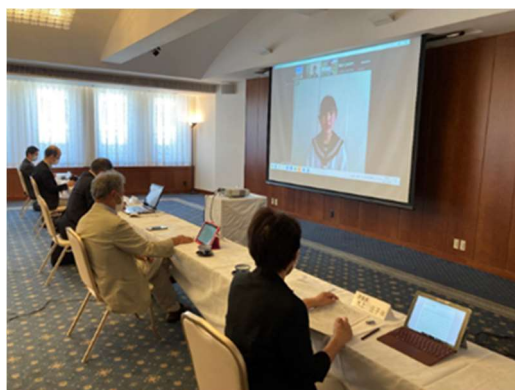
中学生 10名
68回 キラリホールでの発表者

クごみ問題をなくすために、私たちと国連ができること」という演題で、海洋プラスチックごみ削減に向けた活動に取り組んだ体験から、地域に根付いた活動の継続や小中学生への啓発活動の重要性を訴えた村上果璃さんが1位となり県代表となりました。

2020年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら開催が不可能となりました。

そして第69回(2021年)は、なかなか終息しない新型コロナウイルス感染が心配される中、高木会長の熱い思いと関係者の願いもあり、オンラインで開催することになりました。初めての試みであり、スタッフも手探りで行った大会となりました。そのような中で、高校生の部1位の寺村光生さんは、カンボジアスタディツアーに参加した経験から、発展途上国のワクチン摂取率の低さを問題視し、将来自分は薬の開発に携わり、誰一人取り残さない社会づくりに貢献する「アンサンング(縁の下の力持ち)・シンデレラ」になろうと力強く自身の誓いを述べました。中学生の部1位の茶野亜依さんは、東京オリンピック・パラリンピックから五輪憲章に「共に」という言葉が加えられたことと自身の空手の経験を重ねながら、自分も「共に」生きていく未来のためにできることに挑戦したい、他と共に生きる人でありたいと、将来への決意を熱く語りました。

オンラインでの発表は不安なことも多かったのではないかと思います。真剣に力強く自分の思いや考えを主張した発表者一人一人に、心から拍手を送りました。次回以降の大会開催に向けての試金石となった大会でした。



69回 オンラインでの審査風景

この10年を振り返ったとき、第67回大会の講評で「中学生や高校生が社会に目を向け、真剣に考えていることに感銘を受けました」と話された審査員のことばが蘇ってきます。これからも有意義な大会になることを願っています。

おわりに、ご協力いただきました審査員の方々並びにご指導いただきました中学、高校の先生方及び関係の皆様改めて厚くお礼申し上げます。

3. 5 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展のあゆみ

大谷弓子

日本ユネスコ協会連盟主催の「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展は、地域の文化や自然の素晴らしさを見つめなおし、未来へと引き継ぐ気持ちを育むことを目的に、1998年から全国各地で行われています。富山ユネスコ協会では2005年から毎年秋に開催し、2009年からは氷見ユネスコ協会、2011年からは南砺ユネスコ協会との共同開催となり、富山県内すべての小中学校を対象とした絵画公募展となりました。また、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」に富山湾が加盟したことを受け、2015年からは、「美しい富山湾クラブ」に後援いただき、「美しい富山湾クラブ会長賞」を創設しました。

富山ユネスコ協会が本絵画展をスタートした当初は全国展の開催があり、本絵画展の優秀作品を全国展へ出品していました。当協会からの出品作品が全国展において、全国審査特選や日本ユネスコ協会連盟優秀賞の受賞もありましたが、現在は各地域ごとでの開催となっています。また、2005年の絵画展スタート時から2015年までは応募があった全作品を展示しており、多いときは約1000点を展示していました。2016年からは入選作品のみの展示とし、毎年約250点の展示を行っています。

2020年は、コロナの影響のため開催を見送りましたが、16回目となる2021年は、表彰式の不開催、観覧者入場制限など、会場の北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」のスタッフの皆さんのご協力のもと感染対策を講じながら、県内の小学校19校から306点、中学校23校から264点、あわせて42校から570点の応募をいただき、何とか無事に開催することができました。

県内各地の小中学生の皆さんの描いた作品からは、「わたしの町のたからもの」に対する思いがよく伝わってきます。毎年連続して出品される学校も多く年々内容も充実してきており、先生方や小中学生の皆さんの意欲的な様子が伺えるのは大変喜ばしいことです。

今後も、この展覧会により多くの皆さんにご参加いただき、美しいふるさとを愛し、地域遺産を未来に引き継いでゆく一契機となる事を願っています。



入賞者集合（2018）



展示会場で表彰式（2019）



審査会（2021）

3. 6 書きそんじハガキと世界寺子屋運動

長尾恒憲

○ 書きそんじハガキ回収状況

書きそんじハガキを集める活動は、日本ユネスコ協会連盟(以下、日ユ協連という)が1990年(H2)から世界寺子屋運動の一環で、集めたハガキを基金としてアジアでの教育支援に活用しようと始めました。

当協会60年史には同年12月からキャンペーンを始め3,895枚(換算金額13万1,000円相当)を回収し、翌年、翌々年と続けたと記録はありますが回収枚数や以後の記録はなく、2004(H16)年に再開され、同年から2020(R2)年迄の累計枚数は45万6,555枚(換算金額2,103万9,452円)となりました。県内の学校教育機関をはじめ企業・団体などのご協力に感謝の気持ちで一杯です。

○ カンボジアスタディツアーと天空の杜プロジェクト

そんな活動の中で、会員から支援がどう役立っているか現地を訪問したいとの声が上がリ、2013(H25)年11月19日から26日迄の8日間カンボジアスタディツアーを実施しました。(スケジュール参照)

参加したのは松波孝之会長、飯田國彦・水上庄子・高桑幸一各副会長、定村仁志事務局長、澤田みや子・長尾恒憲各理事、浜手基親氷見ユネスコ協会理事の8名で、訪ねたのは日ユ協連カンボジア事務所があるシェムリアップ州でした。同州には世界遺産のアンコールワットがあり、中心部は観光客も多く活気はありますが、少し離れると電気や水道施設もなく、貧富の差が一目瞭然でした。

(株)富山環境整備と日ユ協連協働の「天空の杜プロジェクト」開始式と時期を同じくできたため、松浦英樹社長や日ユ協連の野口昇理事長はじめ多くの関係者も同行して3寺子屋と1公立小学校を訪問し、大勢の寺子屋関係者や子供たちに大歓迎していただきました。富山の子供たちの「寄せ書き」の説明に目を輝かせて聞く子どもたち、ボールペンや「天空の杜」ペットボトルなどを嬉しそうに受け取る子供の笑顔に直接触れ合い、有意義な交流の機会を持つことができました。また、コック・ブノウ寺子屋は6月に完成したばかりで、銘板の3番目に「富山ユネスコ協会」名が刻まれており、支援が役立っていることを実感しました。

「寄せ書き」やボールペンなどの提供には富山市の中央・寒江・五福・堀川・光陽・神通碧各小学校、氷見市の朝日丘小学校、新湊市の作道保育園、北陸電力(株)、日本海発電(株)、北電技術コンサルタント(株)、北電テクノサービス(株)、北陸発電工事(株)、(株)北陸電力リビングサービス、(株)ケーブルテレビ富山、富山縣護國神社等の学校・企業・団体などにご協力いただきました。カンボジアの寺子屋と小学校から預かった8枚の「寄せ書き」は協力いただいたユネスコスクールの学校や保育園に渡しました。

「天空の杜プロジェクト」はカンボジア王国シェムリアップ州の4病院と15村の寺子屋に対し3年間に①飲料・医療用として500ml入りの「天空の杜」水を155万本提供。②安全な水の供給を可能にする施設整備として、太陽光パネルを用いた井戸水の浄化装置を設置。③水と健康に関する啓発活動のため、教育教材の作製と配布という支援事業です。富山環境整備入社1年目の私が社長に「書きそんじハガキキャンペーンのため、勤務中に学校訪問したい」と伺いを立てたところ、逆に「飲料水事業で国際貢献を考えている。ユネスコに協力をお願いできないか」と相談されたことがきっかけでした。



参加者一同



コック・ブノウ村寺子屋で、寄せ書きとボールペンを贈呈

シェムリアップ州立病院でのプロジェクト開始式では副知事、病院関係者ら約 400 人から大歓迎を受けました。式後、病室をまわって患者にペットボトル水を手渡し激励したり、中庭で水の浄化装置の起工式に参加したりしました。

ツアーではアンコールワットを始めバイロン寺院などの視察と修復現場で歴史・文化を学び、地雷博物館などで戦争の悲惨さと平和への営みも学びました。

日ユ協連の寺尾明人事務局次長（故人）、同カンボジア事務所のブッタ所長には「天空の杜プロジェクト」の調印、スタディツアーの日程に至るまで数々のご配慮を頂きました。

カンボジアスタディツアー日程表

日(曜)	場所	内容
19(火)	富山～上海～シェムリアップ	富山空港国際線ロビーで出発式
20(水)	アンコールトム タ・プローム チョンクニア寺子屋 トンレサップ湖クルーズ チョンクニア寺子屋	バイヨンの遺跡修復作業を見学体験 ガジュマルに浸食された遺跡 ホテアオイでコースター作り 水上生活の視察 識字クラス
21(木)	コック・プノウ村寺子屋 タトラウ小学校 タトウラ寺子屋 日ユ協連招待ディナー	幼稚園クラス 子どもたちが歌で歓迎 子どもたちとの交流 パラダイスホテル
22(金)	シェムリアップ州立病院 リバーサイドホテル 郡立病院、小児病院 日ユ協連カンボジア事務所	水プロジェクト開始式、施設見学 レセプション昼食会で松波会長挨拶 絵本をプレゼント ブッタ所長より寺子屋運動などレクチャー
23(土)	アンコールワット アンコールカルチャー・ビレッジ	世界遺産を見学 ジャヤバルマン7世ショー、他
24(日)	バンテアイスレイ（女の砦） クバールスピアン ベンメリア フェアウェルパーティー	東洋のモナリザ 川底の彫刻 天空の城ラピュタのような遺跡群 ブッタさん一家を招待マスターズ・スプ
25(月)	地雷博物館 キリング・フィールド、ワット・ポー寺院 シェムリアップ～上海	地雷撤去についてアキ・ラー館長の説明 ポルポト政権時代の処刑場を見学 MU514 4:10(出発遅れ)
26(火)	上海～富山	富山空港国際線ロビーで解団式

○ 寺子屋運動の現況

日ユ協連第2事業部穴戸亮子課長によるとカンボジア王国シェムリアップ州の寺子屋は現在 20 軒目を建設中で、寺子屋建設には井戸水の浄化装置設置がスタンダードとなっている。また、コロナ禍の中で寺子屋が感染予防の拠点となるよう、緊急支援として3つの活動①衛生用品の配布②寺子屋の井戸水水質検査、浄水機点検と修理による、きれいな水の提供③衛生教育を展開した。日ユ協連では非識字者の多いカンボジア、ネパール、アフガニスタン、ミャンマーで活動していたがアフガニスタン、ミャンマーでは政変があり、両国では現在活動停止状態であり、今後継続できるかどうか今も情報収集に努めているとのことでした。

世界寺子屋運動は学校にいけない子供たちや読み書き出来ない大人の人々に、教育の機会（学びの場＝寺子屋）を提供し、人材育成によって自立した持続可能な社会づくりを応援する運動であり、あきらめることのできない運動です。大河も一滴の水から成ります。地道ではありますが引き続き頑張っていきましょう。

3. 7 ユネスコスクールと歩んだ10年間

水上庄子

ユネスコスクールは、UNESCOの理想を実現するため、平和についての共通テーマを学び、国内外のユネスコスクールとつながっていく国際的な学校です。2008年に日本ユネスコ国内委員会がESDの推進拠点としてユネスコスクールの加盟を促進するよう提言してから全国的にユネスコスクールが急に増えました。その結果2007年に24校だったユネスコスクール加盟校が2019年11月まで1,120校にまで増えました。

富山県においても2007年に0校だったユネスコスクールが2019年には14校に増えました。文部科学省は教育振興基本計画の中でESDを教育の重要な理念の一つとして位置付けるようになった結果、ESDへの取組は日本のすべての学校の課題であり、ユネスコスクールには推進拠点校の役割が期待されています。

この10年間、富山ユネスコ協会では従来のユネスコ活動に加え、ユネスコスクール・ESD部会が設置され、ユネスコスクールを対象にした活動が多く占めるようになってきました。

○ ユネスコスクールとESD推進コーディネーター

2014年に北陸の大学及び教育委員会が中心となり、北陸ESD推進コンソーシアムが形成され、富山ユネスコ協会も加盟しました。

私は、設立当初から北陸ESD推進コーディネーターとしてユネスコスクールとの関わりをもつことができ、県内のユネスコスクールを訪問し国内外の学校との交流促進やESDの活動支援を行ってきました。高岡市立成美小学校の陸前高田の被災地支援と広田小学校との交流、富山国際大学附属高等学校の国際理解講座への講師（JICAの医療スタッフ経験者）招聘とNPO法人ARUN Seedの出前講座、神通碧小・楡原中学校のアートマイルプロジェクトによる台湾との交流は、コーディネーターとして支援した中でも特に記憶に残るものです。

また、地元の神通碧小学校と楡原中学校がそれぞれ2013年と2017年にユネスコスクールに認定されました。このことで、富山ユネスコ協会と両校の連携をより強くすることができました。特に、恒例となった「平和の鐘を鳴らそう in 上行寺」を両校の児童生徒とともに実施し、ユネスコについての理解と地域づくりに貢献できたと思います。

○ SDGs-ESD 富山シンポジウム

2015年1月に初めてユネスコスクールの子どもたちが主役のESD富山シンポジウムが開催されました。初めての試みでしたが、保護者、教育関係者も含めて参加者400名になりました。富山ユネスコ協会もブースを設け、活動を紹介しました。

2019年1月に「SDGs-ESD 富山シンポジウム」と名称を変えましたが、毎年開催されるごとに、子どもたちたちの発表内容も豊かになり意見交換も活発に行われるようになりました。ユネスコスクールでのESDが少しずつ浸透してきたように思われます。昨年度(2011/1)は中止となりましたが、今年度(2022/2)はオンラインによる開催が予定されています。



SDGs-ESD 富山シンポジウムでの子供たち

○ ユネスコ教室

2018年から始めた「ユネスコ教室」では「世界寺子屋運動」の理解と普及のためのリーフレット作りを行いました。最初対面で行っていましたが、4・5回目は富山大学成瀬善則教授、富山国際大学松山友之教授、富山国際大学の学生の協力を得てオンラインで行われました。いろいろな人たちとのパートナーシップのもと、「ユネスコ教室」は定着してきました。



ユネスコ教室でのリーフレット作り

○出前授業

従来から行っている出前授業は「世界寺子屋運動」に関わるものが中心でしたが、「平和」に関する内容のものも行うようになりました。学校の実態に応じて内容を見直し今後も継続していきたい活動です。

○ 日ユ協連との連携

一方、10年の間に日ユ協連の事業に協力できたことは、刺激的で喜びでもありました。

「ユネスコ協会 ESD パスポート」の作成・修正・普及に関わる仕事を体験させてもらいました。その際、富山県は全国に先駆けでパイロット事業として挑戦しました。日本ユネスコ協会連盟と地域ユネスコ協会の協働の姿をみることができました。

もう一つは「ユネスコスクール ESD アシストプロジェクト」の助成に関わる仕事です。途中から「ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト」に代わりましたが、全国から応募してくる100校を超えるユネスコスクールの申請書の第一審査を長年行っていました。全国のユネスコスクールの様々な取組から新しい発見や感動などたくさん得るものがありユネスコスクールへの支援に役立てることができました。

現在、地元のユネスコスクール2校のeラーニング教材制作の支援を行っています。また、市内4校のユネスコスクールが富山大学の成瀬教授の力添えでマレーシアの学校と交流を進めているところです。

10年間を振り返って思うことは、ユネスコスクールを支援する前に、わたしたち自身が「持続可能な社会づくり」の実践者であることを忘れてはならないということです。ユネスコ協会として大切なことは、ユネスコスクールの子どもの学び(ESD)を豊かにするために、学校とともに考え、行動し、学ぶという姿勢が大切だと思いました。

3. 8 会員交流会、県・中部西ブロック研修会

長原好成

○ 会員交流会

2011年度までは理事会に合わせて定例会を開催し、様々なテーマについて講演会を行ってきました。2012年12月より、会員交流会として位置づけ実施されています。2012,2013年度は年1回の開催だったものが、2014年度より年2回の開催となり充実が図られました。

会員交流会には3つの目的があると考えています。

① 会員の交流を深める。

2012年度に開催された第1回会員交流会では、「歌いましょう、語りましょう」をテーマに県民の歌「ふるさとの空」を参加者で合唱し、歌う楽しさを味わいました。

毎年、第2回の研修会終了後、懇親会を開催し、ユネスコについて各々の近況について膝をつき合わせて交流しています。

② 富山ユネスコ協会が行っている事業について共通理解を図る。

2014,2015,2016,2020,2021年度の会員交流会では、本協会が行っている事業について主務者が報告し、それについて意見交換を行っています。全ての事業に関わっている方はほとんどいないので、他の事業の様子、取組の成果、その苦労などもお互いに知り合うことができました。また、たくさんの方から色々なアドバイスや提案がなされ、事業の改善の一助となっています。2017年度には、高木要志男副会長から小学生(高学年)がユネスコ活動に興味関心をもって仲間と交流するための「ユネスコ教室」が提案され、会員の意見を参考に翌年より実施されるようになりました。

③ 講演会や講話などを通して、会員の見聞を広げる。

ユネスコに関する内容での講演会を実施しています。「カンボジアスタディツアー報告」(2013)松波会長(2018)高木会長、県内のユネスコ無形文化財についての講演「高岡御車山祭」(2018)高岡御車山会館学芸員：中村知子氏、「城端曳山祭」(2019)城端景観・文化保全機構代表理事：松平保夫氏、「魚津たてもん祭」(2019)諏訪神社宮司：武田邦浩氏などユネスコ活動について理解を深めました。

また、「富山の歴史と魅力とは一富山の成り立ち（富山とは）」前立山博物館長：米原寛氏(2017)、「義仲と巴」(2021)義仲・巴ら勇士を讃える会全国副会長：得能康生氏からは、郷土富山の魅力について学ぶことができました。「ミャンマーと日本」(2014)ヤンゴン大学講師：ヌウェ・ヌウェ・ウインの講演では、ミャンマーの生活や研究をとおして日本の文化について考えることができました。



会員交流会の様子

○ 富山県、中部西ブロックにおける研修会

富山県ユネスコ活動研修会は、富山ユネスコ協会、氷見ユネスコ協会、南砺ユネスコ協会が持ち回りで研修会を開催し講演や活動紹介などを行っています。

中部西ブロック研修会（富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重の各県のユネスコ協会）は、毎年基調講演、パネルディスカッション、提案発表等を行い、ユネスコ活動の情報交換をし、各ユネスコ協会の事業の見直しに役立てています。県内のユネスコ協会からも提案発表を行っており、2012年に氷見市、2018年に南砺市で開催しました。

3. 9 ユネスコ活動を国際交流フェスティバルで紹介

河原順子

富山ユネスコ協会では、1998年から、毎年開催されている国際交流フェスティバル(富山市民国際交流協会主催)にブースを出展しています。

このイベントは富山県内外から市民県民、大勢の外国人が参加する行事になっており、「富山が国際色豊かに彩られて、さまざまな交流が生まれる、異文化を理解することができる」貴重な機会になっています。

これまで当協会では、平和を願って「平和の鐘を鳴らそう」ミニ梵鐘体験や寺子屋運動、五箇山相倉での茅場の下草狩りなど、多くの活動紹介をパネル展示によって紹介してきました。

「ユネスコ？」どんな活動をしているかを知っている人は少ないのですが、一般には、「ユネスコ」というのは「世界遺産」とは結びついているようです。ブースを訪れる人々との会話が県内の五箇山合掌造り集落の話から発展することもありました。小中学生の中には、「知っている！書きそんじハガキを学校で集めているよ」と話してくれることもあり、私達の活動が少しずつ知られているのだと感じられてうれしくなることもありました。また、ブースを訪れた人々に、書きそんじハガキ1枚1枚が積み重なって世界平和に貢献していることを、「学び」を支える地道な活動であることを伝えていく良い機会になっているのだと思っています。

特筆すべきは、2013年に協会メンバーがカンボジア訪問したあとに参加した国際交流フェスティバルでの写真、物品展示の反響が大きかったことです。会員自らが見聞し体験した、寺子屋に通う子供たちとの交流で確認した「寺子屋建設の支援」「アンコールワット遺跡の保全活動」などは説得力があり、啓蒙啓発活動はたいへん有効なものになりました。



国際交流フェスティバルでユネスコ活動紹介

3. 10 事務局を振り返って

定村仁志

日本ユネスコ運動全国大会開催など創立 60 周年記念事業が 2011 (H23) 年度に実施され、事務局としてその運営に苦勞したものの学ぶことが多くあって貴重な体験となりました。私は北電テクノサービス(株)に勤務し、上司や同僚らのご高配があったお蔭で事務局業務を 63 歳の定年退職(2015 年 2 月)まで仕事をしながらやってきました。退職後は、週 1 回のペースで南砺市福光から富山の CiC ビル事務所へ来ていました。

富山ユネスコ協会の事業実施体制は、2012 (H24) 年度から始まった委員会組織の下、各部会が各種活動を行ってきました。総務委員会運営部会に属する事務局の主な業務については、毎年度の定期総会や理事会と県ユネスコ連役委員会の開催・実施、補助金等の申請・報告、日本ユネスコ協会連盟や富山県教育委員会・富山市教育委員会・日本教育公務員弘済会など関係機関対応などです。

これまでを振り返って、事務局長として組織活動推進の責任を感じ、各事業活動への援助や協力もできるだけやってきました。例えば、各部会が行うイベント(弁論大会、科学フェスティバル、平和の鐘、下草刈りなど)にマンパワーが不足したとき、書きそんじハガキ部会メンバーでは事務所パソコンが利活用できないとき、日本ユネスコ協会連盟の新規取組みのとき(2013~2018 年ユネスコ ESD パスポート事業において参加希望する各校の申込み取りまとめからボランティア実績の報告集約・認定証発行)などありました。また 2013 年 11 月カンボジアスタディーツアーで自然・生活・文化の違いを強烈に感じたり、各々のユネスコスクールに活動助成金を事前にアポイントを取ってスケジュール調整し会長とともに学校を訪問し緊張して渡したり(2018 年に終了)、ユネスコ事務局専用の携帯電話(090-2092-6001)を所持して様々な連絡や問い合わせに右往左往の対応をしたり、多岐にわたる出来事がありました。

2019 年頃に、事務局業務(出納事務、会費処理、名簿管理、行事案内プレス等の補助・支援)を担っていただいております北陸電力から 2 名の事務局業務についてユネスコ会員への移行を要請され、私一人ではできる力量もなく困って高木会長に相談したところ、その役割を分担して引き受けることになりました。コロナ禍の 2020 年に浅野副会長に引継ぎのコーディネーター役をお願いし、会計管理を植田理事に、会員管理を牧野理事に業務引継ぎをしてもらい事務局態勢を整えました。また 2020 年 7 月に事務机・椅子・会議テーブル・キャビネットなどを無償譲渡していただき、とやま市民交流館内の事務室や倉庫に運搬移設しました。その後保管されていたユネスコの封筒や資材なども運び込みました。

最後になりますが、いつもユネスコ精神とシンクグローバリー・アクトローカリーを意識して平和活動を経験、人生勉強を積ませていただき大変感謝しています。これもひとえに会員の皆様方のご理解やお力添えがあったからこそ実践できたものと心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

4. 資料集

4. 1 歴代役員

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
会長	2008/4/27～			4/19				4/14					
	松波孝之			高桑幸一			高木要志男						
副会長	2006/4/23～												
	大谷弓子												
	2008/4/27～				4/18								
	飯田國彦				高木要志男								
	2008/4/27～								4/14				
	河原順子								浅野善弘				
	2010/4/17～ 水上庄子												
	4/21		4/19										
	高桑幸一		長田武嗣										
事務局長	2010/4/17～										4/24		
	定村仁志										浅野善弘		

4. 2 2021年度役員

顧問	新田 八朗	富山県知事
顧問	藤井 裕久	富山市長
顧問	松波 孝之	元富山ユネスコ協会会長
顧問	高桑 幸一	前富山ユネスコ協会会長

会長	高木要志男		
副会長	大谷 弓子	水上 庄子	長田 武嗣
	浅野 善弘		
理事	荒井 宏	井沢 康一	池端 滋
	植田 浩平	岡本 達也	大谷 博信
	河原 順子	佐竹 宏文	清水 克朗
	城野実井子	定村 仁志	立浪 勝
	中川三千穂	中村 勝	長尾 恒憲
	長島 勝治	長原 好成	野上 正毅
	牧野 宇子		
事務局長	浅野 善弘		
監事	高井 康夫	武島 浩	

4. 3 2021年度 会員

2021.12 末現在

法人維持会員 46社	
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	富山電気ビルディング株式会社
株式会社インテック	富山日野自動車株式会社
大谷美術学園	株式会社富山ファイナンス
株式会社北日本新聞社	日本海環境サービス株式会社
株式会社グループ フィリア	日本海建興株式会社
株式会社ケーブルテレビ富山	日本海発電株式会社
医療法人 財団五省会	橋 勝利税理士事務所
ダイト株式会社	北電技術コンサルタント株式会社
株式会社チューリップテレビ	北電産業株式会社
千代田工販株式会社 北陸支店	北電情報システムサービス株式会社
株式会社ドアメンテナンス	北電テクノサービス株式会社
東亜薬品株式会社	北電パートナーサービス株式会社
とうざわ印刷工芸株式会社	北陸エルネス株式会社
株式会社東芝 北陸支社	株式会社北陸銀行
トナミ運輸株式会社	北陸電気工事株式会社
富山エフエム放送株式会社	北陸電機製造株式会社
株式会社富山環境整備	一般財団法人北陸電気保安協会
富山共同自家発電株式会社	北陸電力株式会社
株式会社富山銀行	株式会社北陸電力リビングサービス
富山新聞社	北陸プラントサービス株式会社
富山石油株式会社	株式会社ユニゾーン
株式会社富山第一銀行	米原商事株式会社
富山テレビ放送株式会社	株式会社若林商店

個人会員 127名					
青山 和也	紙井 成章	須河 元信	東澤 善樹	花房 紀行	村家 幸伸
朝瀬 純子	上滝 史子	杉林 千里	十亀 和人	平木 弘	村川真理子
浅野 善弘	川崎 拓哉	鈴木美奈子	土代 正治	廣瀬 晶一	室谷 千秋
荒井 宏	河原 順子	園 博昭	長尾 恒憲	広瀬 恵一	本林 敏功
在原 正人	北川 善輝	多賀 玲子	中川三千穂	深井 美和	森 きよ子
池端 滋	久和 進	高井 康夫	長島 勝治	古田 暉彦	森田 隆
井沢 康一	清原 邦彦	高岡美智子	長田 武嗣	古田 悦子	柳瀬 勝義
石黒 伸彦	清見 昇	高木 章	中田 洋志	堀 亜季	矢野 茂
稲垣 晴彦	五島 敏雄	高木香代子	長田 裕子	牧野 宇子	矢部恵美子
植田 浩平	越村 繁	高木 悟	中野 重義	榎田 尚子	山田晋太郎
魚川 洋子	小山 孝義	高木要志男	永原 功	松岡 節子	山藤 美則
浮橋 美頭	斉藤奈々香	高桑 幸一	長原 好成	松田 光司	吉川 邦男
扇谷 洋子	酒井 恵子	高桑 道子	中村 正孝	松波 孝之	吉田 信子
大谷 博信	酒井 勉	高寺 政守	中村 勝	松波 葉子	吉田 雅江
大谷 弓子	佐竹 宏文	高林 幸裕	永森 悦子	松本 重夫	吉村 直樹
岡崎 佳子	澤田みや子	田口由香里	西野 彰純	的場 伸晃	若井 武夫
岡本 達也	塩谷 誓勝	武井 純	西野 克彦	水上 克彦	若林 啓介
尾島 志朗	島田佳代子	武島 浩	西村 孝子	水上 庄子	
尾畑 納子	清水 克朗	立浪 勝	新夕真希夫	水上 裕康	
加藤 高明	城野実井子	寺田 桂子	野上 正毅	水上 靖仁	
金井 豊	定村 仁志	寺田 祥子	能登 正恵	水野 弘一	
金子 成江	白江 孝俊	寺西 外美	畠山 正樹	三鍋 光昭	

4. 4 ユネスコ憲章 ～ 協会会則

4. 4. 1 ユネスコ憲章（前文）

採択 昭和 20 年 11 月 16 日

発行 昭和 21 年 11 月 4 日

前文

この憲章の当事国政府は、その国民に代って次のとおり宣言する。

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならない神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取り決めのみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和が失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探究され、且つ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を發展させ及び増加させること並びに相互に理解し及び相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。

その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、且つその憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。

4. 4. 2 世界人権宣言（前文）

世界人権宣言は、人権および自由を尊重し確保するために、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」を宣言したものであり、人権の歴史において重要な地位を占めています。1948年（昭和 23 年）12 月 10 日に第 3 回国連総会において採択されました。なお、1950 年の第 5 回国連総会において、毎年 12 月 10 日を「人権デー」として、世界中で記念行事を行うことが決議されました。（以下、外務省による仮訳文）

前文

人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎であるので、

人権の無視及び軽侮が、人類の良心を踏みにじった野蛮行為をもたらし、言論及び信仰の自由が受けられ、恐怖及び欠乏のない世界の到来が、一般の人々の最高の願望として宣言されたので、

人間が専制と圧迫とに対する最後の手段として反逆に訴えることがないようにするためには、法の支配によって人権保護することが肝要であるので、

諸国間の友好関係の發展を促進することが、肝要であるので、

国際連合の諸国民は、国際連合憲章において、基本的人権、人間の尊厳及び価値並びに男女の同権についての信念を再確認し、かつ、一層大きな自由のうちで社会的進歩と生活水準の向上とを促進することを決意したので、

加盟国は、国際連合と協力して、人権及び基本的自由の普遍的な尊重及び遵守の促進を達成することを誓約したので、

これらの権利及び自由に対する共通の理解は、この誓約を完全にするためにもっとも重要であるので、よって、ここに、国際連合総会は、

社会の各個人及び各機関が、この世界人権宣言を常に念頭に置きながら、加盟国自身の人民の間にも、また、加盟国の管轄下にある地域の人民の間にも、これらの権利と自由との尊重を指導及び教育によって促進すること並びにそれらの普遍的かつ効果的な承認と遵守とを国内的及び国際的な漸進的措置によって確保することに努力するように、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として、この世界人権宣言を公布する。

4. 4. 3 ユネスコ活動に関する法律（昭和 27 年法律第 207 号）

前文

日本国民は、国際連合教育科学文化機関が世界平和の確立と人類の福祉の増進に貢献しつつあることの意義を高く評価し、この機関に加盟することによって得た日本の国際的地位にかんがみ、政府及び国民の活動によりその事業に積極的に協力することを決意し、教育、科学及び文化を通じて、国際連合憲章、国際連合教育科学文化機関憲章及び世界人権宣言の精神の実現を図るため、ここにこの法律を制定する。

第一章 ユネスコ活動

（ユネスコ活動の目標）

第一条 わが国におけるユネスコ活動は、国際連合教育科学文化機関憲章（昭和二十六年条約第四号。以下「ユネスコ憲章」という。）の定めるところに従い、国際連合の精神に則って、教育、科学及び文化を通じ、わが国民の間に広く国際的理解を深めるとともに、わが国民と世界諸国民との間に理解と協力の関係を進め、もって世界の平和と人類の福祉に貢献することを目標とする。

（定義）

第二条 この法律において「ユネスコ活動」とは、国際連合教育科学文化機関（以下「ユネスコ」という。）の目的を実現するために行う活動をいう。

（国外諸機関との協力）

第三条 わが国におけるユネスコ活動は、ユネスコ、国際連合及びその専門機関、ユネスコ活動に関係のある国際団体並びに諸国の政府、ユネスコ国内委員会及びユネスコ活動に関係のある団体等と協力しつつ展開されなければならない。

（国及び地方公共団体の活動）

第四条 国又は地方公共団体は、第一条の目標を達成するため、自らユネスコ活動を行うとともに、必要があると認めるときは、民間のユネスコ活動に対し助言を与え、及びこれに協力するものとする。

2 国又は地方公共団体は、民間のユネスコ活動振興上必要があると認める場合には、その助成のため、政令で定めるところにより、その事業に対し援助を与えることができる。

3 国又は地方公共団体の機関が前二項の事項を実施するに当っては、第五条の日本ユネスコ国内委員会と緊密に連絡して行わなければならない。

第二章 日本ユネスコ国内委員会

（設置）

第五条 ユネスコ憲章第七条の規定の趣旨に従い、我が国におけるユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査のための機関として、文部科学省に、日本ユネスコ国内委員会（以下「国内委員会」という。）を置く。

（所掌事務の範囲及び権限）

第六条 国内委員会は、関係各大臣の諮問に応じて次に掲げる事項を調査審議し、及びこれらに関し必要と認める事項を関係各大臣に建議する。

一 ユネスコ総会における政府代表及びユネスコに対する常駐の政府代表の選考に関する事項

- 二 ユネスコ総会に対する議案の提出その他ユネスコ総会における議事に関する事項
 - 三 ユネスコ総会以外のユネスコに関係のある国際会議への参加に関する事項
 - 四 ユネスコに関係のある条約その他の国際約束の締結に関する事項
 - 五 国が行うユネスコ活動の実施計画に関する事項
 - 六 ユネスコの目的及びユネスコ活動に関する国民の理解の増進に関する事項
 - 七 民間のユネスコ活動に対して行うべき助言、協力及び援助に関する事項
 - 八 ユネスコ活動に関する法令の立案及び予算の編成についての基本方針に関する事項その他ユネスコ活動に関し必要な事項
- 2 前項の規定による国内委員会に対する関係各大臣の諮問及び国内委員会の関係各大臣に対する建議は、関係各大臣が文部科学大臣以外の者であるときは、文部科学大臣を通じて行うものとする。
- 3 国内委員会は、わが国におけるユネスコ活動の基本方針を策定するものとする。
- 4 国内委員会は、ユネスコ活動に関し、国内のユネスコ活動に関係のある機関及び団体等並びに第三条の機関及び団体等と必要な連絡を保ち、及び情報の交換を行う。
- 5 国内委員会は、ユネスコ活動に関する調査並びに資料の収集及び作成を行う。
- 6 国内委員会は、集会の開催、出版物の頒布その他ユネスコの目的及びユネスコ活動に関する普及のために必要な事項を行うことができる。
- 7 国内委員会は、ユネスコ活動に関し、地方公共団体、民間団体又は個人に対して必要な助言を与え、及びこれに協力することができる。

(外務大臣との関係)

第七条 国内委員会は、その対外事務を処理するに当り、その事務が国の対外施策に関連する場合には、外務大臣と緊密に連絡して行うものとする。

- 2 外務大臣は、国内委員会の対外事務の処理について、国内委員会に対し必要な便宜を与え、これに協力するものとする。

(構成)

第八条 国内委員会は、六十人以内の委員で組織する。

(委員の任命)

第九条 委員は、次の各号に掲げる者につき、当該各号に掲げる員数以内を文部科学大臣が任命する。この場合において、文部科学大臣は、第一号から第四号まで及び第七号に掲げる者については、第十三条の選考小委員会の選考を経て国内委員会から推薦されたものにつき、内閣の承認を経て、任命するものとする。

- 一 教育活動、科学活動及び文化活動の各領域を代表する者 十八人
- 二 教育、科学及び文化の普及に関する諸領域を代表する者 十二人
- 三 地域的なユネスコ活動の領域を代表する者 十二人
- 四 学識経験者 七人
- 五 衆議院議員のうちから衆議院の指名した者 四人
- 六 参議院議員のうちから参議院の指名した者 三人
- 七 政府の職員 四人

- 2 委員の選考の基準について必要な事項は、政令で定める。

(委員の任期等)

第十条 委員（衆議院議員、参議院議員及び政府職員たる委員を除く。以下本条第二項及び第十一条第一項において同じ。）の任期は、三年とする。但し、補欠の委員は、前任者の残任期間在任する。

- 2 委員は、再任されることができる。
- 3 委員は、特別職とする。

(以下 略)

4. 4. 4 富山ユネスコ協会 会則

昭和 27 年 4 月 1 日施行

平成 31 年 4 月 20 日改定

第 1 章 総則

第 1 条 (名称)

本会は「富山ユネスコ協会」(英文名: Toyama UNESCO Association)と称する。

第 2 条 (事務所)

本会の事務所を富山市新富町 1 丁目 2 番 3 号 CiC ビル 3 階「とやま市民交流館」内に置く。

第 3 条 (目的)

本会は、国際連合教育科学文化機関(以下「ユネスコ」という。)憲章の精神に則り、地域的に民間ユネスコ活動を推進し、ユネスコ精神の普及、平和と教育・文化の発展に寄与することを目的とする。

第 4 条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために、下記の事業を行う。

- (1) 国際相互理解と国際協力の推進活動
- (2) 国際交流活動の展開
- (3) 文化財及び自然環境を保護する活動
- (4) 地域の伝統文化を守り継承していく活動
- (5) 青少年育成に貢献する活動
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 2 章 会員

第 5 条 (会員)

本会の目的に賛同し、その事業に積極的に参画し、所定の会費を負担する者をもって会員とする。

第 6 条 (会費)

会員の種別及び会費は、次のとおりとする。

- (1) 個人会員 年額 一口 3 千円以上
但し、青年会員(35 歳未満)は、年額一口千円とする。
- (2) 法人維持会員 年額 一口 1 万円

第 7 条 (入会・退会)

本会への入会及び退会は、会長の承認を必要とする。

会費を 3 年以上滞納したときは、退会とみなす。

第 3 章 役員及び事務局

第 8 条 (役員)

本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2 名

第 9 条 (役員を選出)

前条の役員は、総会において会員の中から選出する。

第 10 条 (役員の仕事)

会長は、本会を代表し、会務を統理する。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ定められた順序に従い、その任務を代行する。
3. 理事は、本会の重要案件を審議する。
4. 監事は、会計を監査し、理事会に出席して意見を述べることができる。

第 11 条 (役員の仕事)

役員の仕事は 2 年とし、再任を妨げない。

第12条（顧問）

本会に顧問を置くことができ、会長がこれを委嘱する。
顧問は会長の諮問に応じ、理事会に出席することができる。

第13条（事務局）

本会の事務局を設け、事務局長及び事務職員を置くことができる。
2. 事務局長は、理事会の承認を得て会長が委任する。
3. 事務局は、本会の会計を司る。

第4章 会議

第14条（会議）

本会の会議は総会及び理事会とし、いずれも会長が招集し、会長が議長にあたる。
2. 総会は全会員で構成し、理事会は役員及び事務局でもって構成する。
法人維持会員は、総会に1名の代表者を出席させることができる。
3. 会議の議決は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
4. 会長は、事業活動上必要な場合は、各種の委員会・部会を設けることができる。ただし、理事会の承認を得ることとする。

第15条（総会）

総会は年1回4月に開催し、次の事項を決議する。
(1) 事業計画及び事業報告の承認
(2) 予算及び決算の承認
(3) 役員を選出及び解任
(4) 会則の変更
(5) その他必要な事項

第16条（臨時総会）

前条で定められた総会以外に、次の場合には臨時総会を開催することができる。
(1) 会長が必要と認めた場合
(2) 理事の過半数の要求があった場合
(3) 会員の3分の1の要求があった場合
2. 前項(2)または(3)の場合、会長は、要求が文書で提出されてから30日以内に、臨時総会を招集しなければならない。

第17条（理事会）

理事会は年2回以上開催し、次の事項を審議する。
(1) 業務執行に関する事項
(2) 補欠役員を選出
(3) その他必要な事項

第5章（会計）

第18条（経費）

本会の経費は、会費、補助金、助成金などの収入による。

第19条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第6章（雑則）

第20条（日本ユネスコ協会連盟への加盟）

本会は、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟に、構成団体会員として加盟する。

第21条（宗教・政治活動の禁止）

本会は、特定の宗教及び政治活動は一切行わない。

4. 5 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展

優秀作品（2012～2021年）

2012「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ54号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「やんさんま」
富山市立北部中学校3年 神田 葵



富山ユネスコ協会会長賞
「和田中町のこどもこし」
高岡市立南条小学校1年 寺野 さとみ



南砺ユネスコ協会会長賞
「五箇山のししまい」
富山市立藤ノ木小学校5年 村田 梓織



氷見ユネスコ協会会長賞
「上日寺の大イチョウ」
氷見市立北部中学校1年 夷 智輝

2013「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ55号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「旧配水塔」
高岡市立下関小学校5年 大林 弥飛



富山ユネスコ協会会長賞
「市電開業100周年」
富山市立堀川小学校5年 堀 峰貴



氷見ユネスコ協会会長賞
「僕の大好きなししまい」
氷見市立窪小学校3年 河森 晃

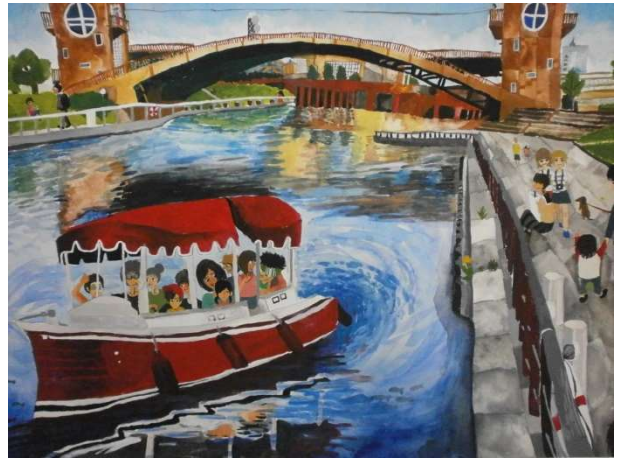


南砺ユネスコ協会会長賞
「武者絵」
南砺市立福野中学校3年 神林 みゆ

2014「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ56号



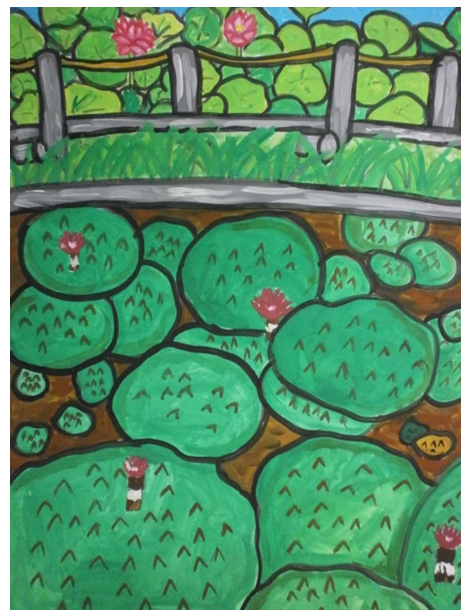
日本ユネスコ協会連盟会長賞
「とやまのかもしか」
富山市立老田小学校1年 牧野 虎太郎



富山ユネスコ協会会長賞
「環水公園の船」
富山市立藤ノ木中学校1年 村田 梓織



南砺ユネスコ協会会長賞
「あさぼらけ」
南砺市立吉江中学校3年 黒川 瑠乃



氷見ユネスコ協会会長賞
「オニバスとハス」
氷見市立朝日丘小学校6年 高嶋 勇大

2015「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ57号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「歴史ある街並み」
富山市立八尾中学校3年 忠地 伶実



富山ユネスコ協会会長賞
「緑いっぱい え顔いっぱい布目公園」
富山市立倉垣小学校3年 安藤 百奏



氷見ユネスコ協会会長賞
「美しい雨晴の風景」
氷見市立十三中学校3年 林 嵩喜

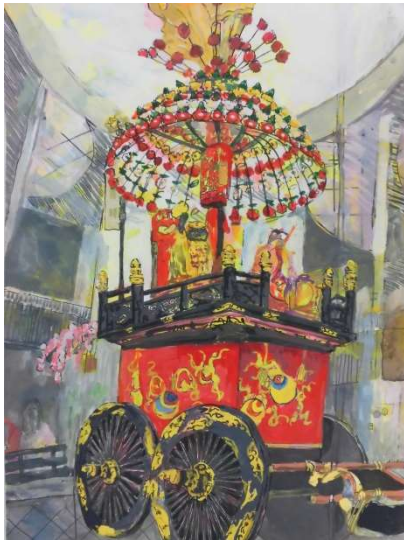


南砺ユネスコ協会会長賞
「イオックスアローザで楽しいスキー」
南砺市立福光中部小学校3年 五天 結子



美しい富山湾クラブ会長賞
「なめり川のネプタ流し」
滑川市立北加積小学校1年 原 心美

2016「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ58号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「輝き続ける御車山」
高岡市立下関小学校6年 高島 吉平



富山ユネスコ協会会長賞
「お地ぞうさまいっばい！」
富山市立五福小学校3年 丸山 杏



南砺ユネスコ協会会長賞
「利賀村に古くから伝わる民謡」
南砺市立利賀中学校3年 長谷 千里



氷見ユネスコ協会会長賞
「勇壮な獅子舞」
氷見市立北部中学校2年 毛利 文香



美しい富山湾クラブ会長賞
「ホタルイカ！ と山わんのたからもの」
富山市立豊田小学校2年 西田 和音



美しい富山湾クラブ会長賞
「受け継がれる名勝」
高岡市立伏木中学校2年 米田 萌華

2017「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ59号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「石畳のある風景」
高岡市立芳野中学校2年 林岸 主真



富山ユネスコ協会会長賞
「よたか祭り」
富山市立老田小学校4年 牧野 虎太郎



氷見ユネスコ協会会長賞
「カシラが顔をみ合わせている姿」
氷見市立北部中学校1年 紅出 彩華



南砺ユネスコ協会会長賞
「さかさ合掌」
南砺市立平中学校3年 石井 要



美しい富山湾クラブ会長賞
「海王丸」
高岡市立野村小学校5年 高田 徳清



美しい富山湾クラブ会長賞
「近くから見た神楽橋」
射水市立新湊南部中学校1年
フェルナンデス・アイカズミ

2018 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ 60 号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「彫金師のお父さん」
高岡市立平米小学校 1年 和田 すず音



富山ユネスコ協会会長賞
「高岡御車山」
高岡市立高岡西部中学校 2年 高橋 想汰



南砺ユネスコ協会会長賞
「合しようづくり」
上市町立上市中央小学校 2年 山崎 朝陽



氷見ユネスコ協会会長賞
「ぎおんまつり」
氷見市立湖南小学校 1年 戸川 藍



美しい富山湾クラブ会長賞
「海王丸」
富山市立保内小学校 6年 下尾 彩花



美しい富山湾クラブ会長賞
「私たちの街の港 生地漁港」
黒部市立高志野中学校 2年 島 明未佳

2019 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 ユネスコ61号



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「キラリとセントラム」
富山市立堀川小学校5年 王 藝璇



富山ユネスコ協会会長賞
「早川こどもみこし」
富山大学人間発達科学部附属中学校1年 岡田 悠煌



氷見ユネスコ協会会長賞
「上日寺大銀杏」
氷見市立西條中学校3年 森寺 一華



美しい富山湾クラブ会長賞
「ぼくのすきなうみ」
高岡市立戸出西部小学校1年 八田 晋一



南砺ユネスコ協会会長賞
「五箇山合掌造り」
富山大学人間発達科学部
附属中学校1年 山口 泰成



美しい富山湾クラブ会長賞
「富山の宝物」
富山市立東部中学校1年 島田 侑

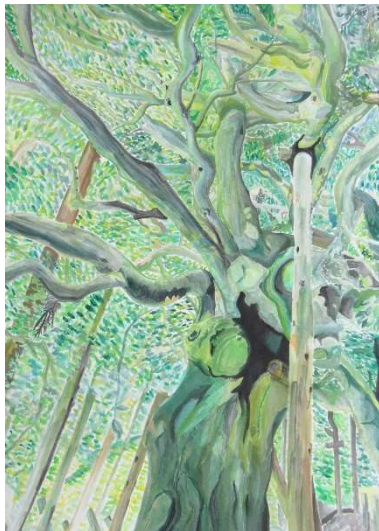
2021 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展最優秀作品 (2020 は中止)



日本ユネスコ協会連盟会長賞
「旧伏木銀行」
高岡市立伏木中学校 3年 梶川 恵那



富山ユネスコ協会会長賞
「かぼちゃ電車」
片山学園中学校 3年 小野 まりあ



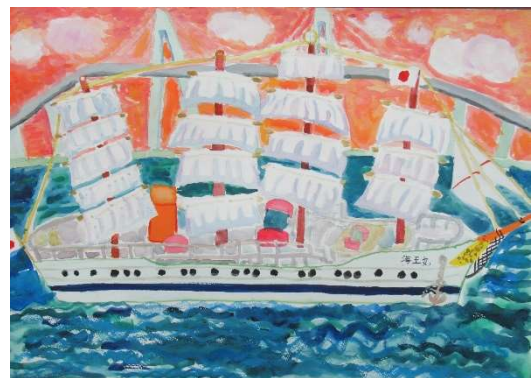
氷見ユネスコ協会会長賞
「姥谷のおおつばき」
氷見市立北部中学校 2年 田中 仁湖



南砺ユネスコ協会会長賞
「五箇山合掌集落の夏」
富山市堀川小学校 6年 小島 諒



美しい富山湾クラブ会長賞
「繫げたい景色」
氷見市立西條中学校 1年 濱谷 海実



美しい富山湾クラブ会長賞
「夕日にかがやく海王丸」
射水市立新湊小学校 6年 岡田 心音

4. 6 富山ユネスコ協会70年への歩み ―至近10か年―

4. 6. 1 総会編

2008(H20)年に古田暉彦会長から松波孝之会長に引き継がれたのち、2014年に高桑幸一会長、2018年に高木要志男会長に協会の運営が引き継がれました。

2012(H24).04.21 総会、役員／高桑幸一を副会長に選任、平成23年度決算(収入2,459,736円、H24/3末 法人維持会員51社、個人会員187名)、5委員会を設置／協会の運営・研修計画・協会便りの作製などを総務委員会で担務、参加者30名(サンフォルテ)

記念講演 演題 「日本画とは何か」

講師 富山県水墨美術館館長 柳原正樹氏

2013(H25).04.20 総会、平成24年度決算(収入1,495,986円、H25/3末 法人維持会員52社、個人会員188名)、参加者33名(とやま市民交流館)

クラシック音楽会 ヴァイオリン:渋谷優花、ピアノ:中野悠里

2014(H26).04.19 総会、役員／高桑幸一を会長に、長田武嗣を副会長に選任、25年度決算(収入1,636,246円、26/3末 法人維持会員51社、個人会員184名)、参加者24名(環日本海交流会館)

記念講演、演題 『知られざるもう一つの立山』立山の自然・水との闘い

講師 立山カルデラ砂防博物館前館長 今井清隆

2015(H27).04.18 総会、役員／高木要志男を副会長に選任、26年度決算(収入1,507,572円、H27/3末 法人維持会員52社、個人会員179名)、参加者28名(とやま市民交流館)

記念講演 演題 「いなみ国際木彫刻キャンプのウラ話」

講師 福井大学大学院特命教授、富山大学名誉教授、彫刻家

「わたしの町のたからもの」絵画展審査員の長谷川総一郎

2016(H28).04.23 総会、27年度決算(収入1,395,009円、H28/3末 法人維持会員52社、個人会員164名)、参加者28名(とやま市民交流館)

記念講演 演題 「20年前の南極昭和基地の暮らし」

講師 富山大学芸術文化学部准教授 清水克朗

2017(H29).04.22 総会、28年度決算(収入1,391,939円、H29/3末 法人維持会員50社、個人会員154名)、会則一部変更、(とやま市民交流館)

記念講演 演題 「中国四千年の至宝について」

講師 世界の至宝 神器・太極『寶』獅子の会代表 村井吉雄

2018(H30).04.14 総会、役員／高木要志男を会長に、浅野善弘を副会長に選任、29年度決算(収入1,558,173円、H30/3末 法人維持会員50社、個人会員145名)、スピーチ／「自ら学び思い律する」谷山実優さん(富山県立富山南高等学校3年)、(富山電気ビルディング新館6階会議室)

記念講演 演題 「笑いコミュニケーション」

講師 落語家 三遊亭良楽 師匠

2019(H31).04.20 総会、30年度決算(収入1,441,628円、内会費収入1,111,000円、H31/3末 法人維持会員48社、個人会員141名)、参加者約30名(とやま市民交流館)

記念講演 演題 「世界で最も美しい富山湾」

講師 美しい富山湾クラブ理事・事務局長(富山ユネスコ顧問) 高桑幸一

2020(R02).04 総会は、新型コロナウイルス感染症対応で中止。4月8日に正副会長会議を開催後、書面理事会にて総会議決事項を承認。R01年度決算(収入1,243,578円、H31/3末 法人維持会員48社、個人会員133名)

2021(R03).04.24 総会、役員/浅野善弘を副会長兼事務局長に選任、R02年度決算(収入1,140,535円、H30/3末 法人維持会員46社、個人会員132名)、参加者約40名(富山県教育記念館) 記念講演 演題「富山ゆかりの戦国武将佐々成政の生涯」 講師/富山市郷土博物館 主査学芸員 萩原大輔

4. 6. 2 平和の鐘編

日本ユネスコ協会連盟の「民間ユネスコ運動の日～夏のキャンペーン～」に呼応して、2004(H16)年から始めたユネスコの平和を求める心を広める活動であり、飯田元副会長を実行委員長として始まりました。

2013年までは高岡二上山平和の鐘前広場で行われていましたが、梅雨末期の大雨での中止もあり、2014年から富山市城址公園戦災復興記念像前に変更となりました。

2012(H24).07.21 第9回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；高岡市二上山会場(平和の鐘前広場)は大雨洪水警報、雷注意報が出されたため中止。サブ会場；射水市常照寺、無量寺、法泉寺、浄土真宗本願寺派富山別院、日本キリスト教団二番町教会、参加者130名

2013(H25).07.21 第10回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；二上山平和の鐘前広場、高岡市長代理祝辞、ミヤワキ建設・佛石寺・かたかご幼稚園・富大吹奏楽部・呉山岳風会に感謝状の贈呈、富山大学高岡キャンパス吹奏楽部演奏、呉山岳風会吟詠、カターレ富山のサイン会、参加者120名。サブ会場；射水市常照寺、無量寺、金像寺、富山市浄土真宗本願寺派富山別院(西別院)、二番町教会、参加者6会場計256名

2014(H26).08.01 第11回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；富山城址公園戦災復興記念像(天女の像)前へ移す。富山県教育委員会寺井幹男教育長(生涯学習・文化財室 木村博明氏 代理出席)、富山市教育委員会麻島裕之教育長の来賓挨拶、呉山岳風会の吟詠、カターレ富山のサイン会、堀川小、光陽小、富大附属中の児童生徒らが運営ボランティア、参加者約200名。サブ会場；高岡市二上山平和の鐘広場前、射水市常照寺、無量寺、金像寺、富山市二番町教会。参加者6会場計334名

2015(H27).08.01 第12回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；富山城址公園戦災復興記念像(天女の像)前、富山県教育委員会渋谷克人教育長(生涯学習・文化財室室長 齋藤幸江様代理出席)、富山市教育委員会麻島浩之教育長の来賓挨拶、呉山岳風会の吟詠、カターレ富山のサイン会、「天空の杜」名水の配布、富山市立堀川小・光陽小・富山大附属中の児童生徒が運営ボランティア、鶴坂小学校約130名の児童参加、参加者は約260名。サブ会場；高岡市二上山平和の鐘広場前、射水市常照寺、無量寺、金像寺、富山市二番町教会。参加者6会場計382名

2016(H28).08.01 第13回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；富山城址公園戦災復興記念像(天女の像)前、富山県教育委員会の渋谷克人教育長(生涯学習・文化財室青少年教育班長 蒲田雅樹様 代理出席)、富山市教育委員会の麻島裕之教育長の来賓挨拶、飯田国彦氏(広島に転居した元富山ユネスコ協会副会長で被爆体験者)の平和への思い、呉山岳風会の吟詠、カターレ富山のサイン会、「天空の杜」名水の配布、堀川小・光陽小・富山大附属中の31名の児童生徒が運営ボランティア参加、呉羽小学校約80名の児童参加、参加者は約200名。サブ会場；高岡市二上山平和の鐘広場前、射水市常照寺、瑞現寺、無量寺、法泉寺、富山市二番町教会、楡原上行寺(神通碧小・楡原中の児童や地域の大人ボランティアによる協働企画・運営と多宗派の寺院の後援)。参加者9会場計533名

2017(H29).08.01 第14回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；富山国際会議場メインホール（「富山市民感謝と誓いのつどい」の後の会場を借用）、富山県教育委員会 渋谷克人教育長（生涯学習・文化財室 菊池政則様 代理出席）、富山市教育委員会 宮口克志教育長の来賓挨拶、呉山岳風会の吟詠、カターレ富山のサイン会、「天空の杜」名水の配布、堀川小・光陽小・中央小・富山大附属中の26名の児童生徒が運営ボランティア、参加者は東部小学校約70名の児童を含めて約200名。サブ会場；射水市無量寺、常照寺、瑞現寺、金像寺、富山市二番町教会、浄土真宗本願寺派富山別院（西別院）、楡原上行寺（参加者全員が折紙を折る）。参加者8会場計505名

2018(H30).08.01 第15回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；富山市民プラザ アンサンブルホール（「富山市民感謝と誓いのつどい」の後の会場を借用）、富山県教育委員会 渋谷克人教育長（生涯学習・文化財室 菊池政則様 代理出席）、富山市教育委員会 宮口克志教育長の来賓挨拶、ユネスコ教室参加の児童4名の発表、中央小・五福小・堀川小・光陽小・富山大附属中の19名の児童生徒が運営ボランティア、大広田小学校約60名の児童参加、参加者は約180名。サブ会場；射水市常照寺、無量寺、法泉寺、瑞現寺、富山市二番町教会、浄土真宗本願寺派富山別院（西別院）、楡原上行寺（高木会長の講演「カンボジアと寺子屋」の後、中学生から書きそんじハガキ回収の呼びかけ）。参加者8会場計422名

2019(R01).08.01 第16回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；国際会議場メインホール（「富山市民感謝と誓いのつどい」の後の会場を借用）、富山県教育委員会 渋谷克人教育長（生涯学習・文化財室 家庭成人教育班長 辻ゆかり様代理出席）、富山市教育委員会 宮口克志教育長の来賓挨拶、新庄北小学校児童による発表、中央小・五福小・堀川小・光陽小・富山大附属中の15名の児童生徒が運営ボランティア、大広田小学校約60名の児童参加、参加者は約180名。サブ会場；射水市無量寺、常照寺、瑞現寺、富山市二番町教会、浄土真宗本願寺派富山別院（西別院）、楡原上行寺（SDGsカルタ遊び）。参加者7会場計413名

2020(R02)年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止

2021(R03).08.01 第17回「平和の鐘を鳴らそう運動」。メイン会場；富山県教育記念館5階大会議室、富山県教育委員会 荻布佳子教育長（生涯学習・文化財室 吉田学室長様 代理出席）、富山市教育委員会 宮口克志教育長の来賓挨拶、奥田北小学校児童によるビデオ動画での発表、参加者は約40名。サブ会場；楡原上行寺（高桑幸一 美しい富山湾クラブ事務局長による講演「世界で最も美しい富山湾」）、参加者82名。2会場計102名

4. 6. 3 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈り編

郷土の世界遺産を守り伝えていくために少しでもお役に立ちたいとの思いから、当協会理事でもある池端滋理事の協力のもと、2005(H17)から実施している活動です。作業後、合掌造り民宿「勇助」において研修会を開き、五箇山に関係する有識者から講話を拝聴しています。

2012(H24).07.29 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者33名（民宿勇助）
講話「こきりこを通して五箇山を見る」
講師 越中五箇山こきりこ唄保存会事務局長 岩崎喜平

2013(H25).07.28 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者40名（民宿勇助）
講話「私が見た五箇山の遺産」
講師 南砺市観光協会五箇山副支部長 村上幸子

- 2014(H26).07.27 10回目の世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア
「相倉合掌造り集落保存財団」と「勇助」に感謝状贈呈、参加者 56 名（民宿勇助）
講話「五箇山の文化財」
講師 元平村教育委員会課長 中川与志一
- 2014(H27).07.26 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者 70 名（民宿勇助）
講話「五箇山でのギター製作者の四方山話」
講師 ギター製作者 辻四郎
- 2016(H28).07.24 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者 76 名（民宿勇助）
講話「世界遺産登録から 20 周年を迎えて」当
講師 協会理事、写真家 池端滋
- 2017(H29).07.23 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者 67 名（民宿勇助）
講話「世界文化遺産の現状」
講師 筑波大大学院教授（文化審議会（世界文化遺産部会）委員）黒田乃生
- 2018(H30).07.22 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者 53 名（民宿勇助）
講話「五箇和紙の伝統をひきついで」
講師 越中和紙伝統工芸士会会長 東中江和紙加工生産組合代表 宮本友信
- 2019(R01).07.21 世界遺産「相倉合掌造り集落」茅場の下草刈りボランティア、参加者 51 名（民宿勇助）
講話「世界文化遺産の保存と活用」
講師 南砺市世界遺産課課長 此尾治和
- 2020(R02)年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2021(R03)年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止

4. 6. 4 ユネスコ科学フェスティバル編

北陸電力エネルギー科学館ワンダー・ラボは定期的の実験教室・イベントを開催していますが、このような活動がユネスコの「教育、科学、文化、コミュニケーションを通じた国際理解や国際協力推進」の理念と通じるところがあり、2005(H17)年から富山ユネスコ協会とワンダー・ラボが共同でのイベントを立ち上げ、ユネスコ科学フェスティバルとして開催しています。

- 2012(H24).09.8～9 「ユネスコ子ども科学フェスティバル 2012」、協力：富山大学学生・ワンダーラボスタッフ・北陸電力(株)地域広報部、テーマ「子どもたちの未来のために今できること」、科学工作・実験ブース、ユネスコブース：ユネスコクイズ・富山ユネスコ 60 年の歩み展示・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・世界遺産パネル展示、延べ参加者 999 名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2013(H25).09.7～8 「ユネスコ子ども科学フェスティバル 2013」、協力：富山大学・富山高専の学生・ワンダーラボスタッフ・北陸電力(株)地域広報部、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、科学工作コーナー・お楽しみコーナーユネスコブース：ユネスコクイズ、平和の鐘を鳴らそう体験コーナー、東日本大震災子ども支援募金・世界遺産パネル展示、延べ来館者 1,416 名、工作ブース参加 574 名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）

- 2014(H26).09.13～14 「ユネスコ子ども科学フェスティバル2014」、協力：富山大学生・ワンダーラボスタッフ・北陸電力(株)地域広報部、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、今回で10年目となることからワンダー・ラボへの感謝状贈呈、5種類の科学工作ブース・6種類の「遊んで学ぼうコーナー」を設置、ユネスコブース：ユネスコクイズ・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・東日本大震災子ども支援募金・世界遺産パネル展示、延べ来館者1,448名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2015(H27).09.19～23 「ユネスコ科学フェスティバル in ワンダー・ラボ 2015」、協力：富山大学生・ワンダーラボスタッフ・ユネスコスクールの小学生ボランティア、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、科学工作・実験コーナー、ユネスコブース：ユネスコクイズ・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・東日本大震災子ども支援募金箱・世界遺産パネル展示紹介、延べ来館者3,256名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2016(H28).09.17～19 「ユネスコ科学フェスティバル in ワンダー・ラボ 2016」、協力：ユネスコスクールの小学生ボランティア（堀川小、中央小、光陽小、富山大附属中）、テーマ：「子どもたちの未来のために、今できること」、科学工作・実験コーナー、ユネスコブース：ユネスコクイズ・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・熊本地震子ども支援募金・世界遺産パネル展示、延べ来館者2,361名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2017(H29).09.16～18 「ユネスコ科学フェスティバル in ワンダー・ラボ 2017」、協力：ユネスコスクールのボランティア生徒児童22名（堀川小、中央小、光陽小、五福小、富山大附属中、楡原中）、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、科学工作・実験コーナー、ユネスコブース：ユネスコクイズ・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・世界遺産パネル展示、延べ来館者2,048名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2018(H30).09.22～24 「ユネスコ科学フェスティバル in ワンダー・ラボ 2018」、協力：ユネスコスクールのボランティア生徒児童25名（堀川小、中央小、光陽小、五福小、楡原中）、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、科学工作・実験コーナー、ユネスコブース：ユネスコクイズ・「ヒュンヒュンこま」の制作指導・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・募金箱設置、延べ来館者1,670名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2019(R01).09.21～23 「ユネスコ科学フェスティバル in ワンダー・ラボ 2019」、協力：ユネスコスクールのボランティア生徒児童24名（堀川小、中央小、光陽小、五福小、富山大附属中）、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、5種類の科学工作ブース、ユネスコブース：ユネスコクイズ・「ヒュンヒュンこま」の制作指導・平和の鐘を鳴らそう体験コーナー・募金箱設置、延べ来館者1,644名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）
- 2020(R02)年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2021(R03).11.13～14 「ユネスコ科学フェスティバル」、新型コロナウイルス感染拡大防止で会場の科学館は9月臨時休館のため11月に延期し、安全対策で人数制限・手指消毒・会場消毒を徹底、テーマ「子どもたちの未来のために、今できること」、ユネスコ会員が科学工作教室3種類（ヒュンヒュンこま・紙コプター・LEDイルミネーション）の講師で指導、延べ来館者787名（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」会場）

4. 6. 5 学生ユネスコ弁論大会編

1951(S26)年11月に富山ユネスコが設立され、鳥山初代会長による「ユネスコ運動は極めて実践的なものであり、煩瑣(はんさ)な理論の討議ではない。自分たちの周辺から始めるのが自然であり、しかも効果的である」との指針のもとでの最初の活動が、翌年2月の「高校ユネスコ弁論大会」、6月の「中学ユネスコ弁論大会」の開催でした。それ以来、ユネスコ精神や人権に関するテーマで、学生が経験した事柄、身近で具体的な事柄について熱弁を振るってきた歴史ある大会で、2021年度で69回目となりました。

2012(H24).10.06 第61回学生ユネスコ弁論大会、20名参加。(サンフォルテ)

中学1位:「三千の出会いの中で」 氷見市立南部中学校3年 久保彩季
高校1位:「ひとつしかない地球のためにーおおかみこどもの故郷からー」
富山県立中央農業高等学校 生物生産科2年 樋口霧花

2013(H25).10.05 第62回学生ユネスコ弁論大会、29名参加。(サンシップとやま)

中学1位:「心をつなぐ日本文化」 富山市立三成中学校2年 久保友理香
高校1位:「三味線と私」富山県立氷見高等学校3年 長井美佳

2014(H26).10.04 第63回学生ユネスコ弁論大会、24名参加。(サンシップとやま)

中学1位:「世界の平和は私の心から」 富山市立南部中学校3年 久住英子、
高校1位:「海外の高校生と日本の高校生を比べて」 富山国際大学附属高等学校1年 林沙紀

2015(H27).10.03 第64回学生ユネスコ弁論大会、19名参加、美しい湾クラブ賞新設。(サンシップとやま)

中学1位:「気持ちは世界共通」 富山大学人間発達科学部附属中学校3年 小杉そら
高校1位:「Smile」 富山県立中央農業高等学校1年 中川江理

2016(H28).10.08 第65回学生ユネスコ弁論大会、14名参加。(サンシップとやま)

中学1位:「戦争と向き合うということーパールハーバーを訪れて」
富山大学人間発達科学部附属中学校3年 明由梨
高校1位:「すべての人に教育をーこれまでと、これからー」
富山国際大学附属高等学校3年 金澤兼資

2017(H29).10.07 第66回学生ユネスコ弁論大会、26名参加。(ファーストバンク・キラリホール)

中学1位:「心をつなぐ〜美しい海、豊かな海を守る〜」 富山市立岩瀬中学校3年 寺西陽菜李
高校1位:「自ら学び思い律する」 富山県立富山南高等学校2年 谷山実優

2018(H30).10.06 第67回学生ユネスコ弁論大会、22名参加。(ファーストバンク・キラリホール)

中学1位:「国境を越えて」 富山市立芝園中学校3年 牧田紗和
高校1位:「一つの海を守るために」 富山国際大学附属高等学校2年 高島拓馬

2019(R01).10.05 第68回学生ユネスコ弁論大会、18名参加。2019年度から高校生の部は「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」県代表者選考を兼ねる。(ファーストバンク・キラリホール)

中学1位:「笑顔という幸せを世界に」 富山市立堀川中学校2年 中田美玖里
高校1位:「海洋プラスチックごみ問題をなくすために、私たちと国連ができること」
富山国際大学附属高等学校2年 村上果璃

2020(R02)年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止

2021(R03).10.02 第69回学生ユネスコ弁論大会、9名参加。(電気ビルを審査会場としてオンラインで実施)

中学1位:「共に」 氷見市西條中学校3年 茶野亜依
高校1位:「もし私が世界の問題を一つだけ解決できる立場にあったら、何を達成し、どのような世界にしたいか。」 富山国際大学附属高等学校2年 寺村光生

4. 6. 6 国際交流フェスティバル編

1998(H10)年から国際交流フェスティバルに参加し、富山ユネスコの活動をPRしてきました。2015年から富山駅構内とCiCビルの分離開催となり、ユネスコブースがCiC1階通路で来場者との交流が難しいことから2018年より不参加となりました。

2012(H24). 11. 11 国際交流フェスティバル、ユネスコブース出展、「世界寺子屋運動」で支援している国々の国旗に色付けするコーナーを設置など、ユネスコ活動を紹介 (CiCビル)

2013(H25). 11. 10 国際交流フェスティバル、ユネスコブース出展、「ユネスコクイズ」に答えてもらうなど、来場者とコミュニケーションし「世界寺子屋運動」をPR (CiCビル)

2014(H26). 11. 09 国際交流フェスティバル、ユネスコブース出展、カンボジア訪問の様子を写真パネルで紹介、アンコール遺跡に描かれた石彫刻の図柄の色付け、ミニ梵鐘による「平和の鐘を鳴らそう」体験コーナーなどユネスコ活動をPR (CiCビル)

2015(H27). 11. 08 国際交流フェスティバル、富山駅構内とCiCの2会場分離開催、ユネスコブースはロビーのスペース、パネル展示のみで通りすがりに立ち寄るといった状況 (CiC1階通路)

2016(H28). 11. 13 国際交流フェスティバル、富山駅構内とCiCの2会場分離開催、会場を訪れる方々に平和の鐘、ミニ梵鐘を鳴らしていただきながらユネスコ活動を知ってもらう交流 (CiC3階通路)

2017(H29). 11. 12 国際交流フェスティバル、富山駅構内とCiCの2会場分離開催、ユネスコブースはCiCビル通路での展示パネル展示やミニ梵鐘による「平和の鐘を鳴らそう」体験コーナーなど (CiC3階通路)

2018(H30)年度以降はブース出展なし

4. 6. 7 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展編

日本ユネスコ協会連盟は、1998(H10)年より、「地域の文化や自然の素晴らしさを見つめ直し、未来へ引き継ぐ気持ち」を育むことを目的として、キャッチフレーズ「世界遺産も！身近なもの！」と題し、「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展事業を始めました。富山ユネスコ協会は、2005年よりこの事業に参加して以降、2021年度で16回目となります。2009年からは氷見ユネスコ協会、2011年からは南砺ユネスコ協会との共同開催となり、富山県内すべての小中学校を対象とした絵画公募展となりました。また、2015年度より美しい富山湾クラブ賞が設けられました。

2012(H24). 11. 2～4 第8回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から813点(小学校595点・中学校218点)の応募。(北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」)
日本ユネスコ協会連盟会長賞「やんさんま」富山市立北部中学校3年 神田葵
富山ユネスコ協会会長賞「和田中町のこどもみこし」高岡市立南条小学校1年 寺野さとみ
氷見ユネスコ協会会長賞「上日寺の大イチョウ」氷見市立北部中学校1年 夷智輝
南砺ユネスコ協会会長賞「五箇山のししまい」富山市立藤ノ木小学校1年 村田梓織

2013(H25). 11. 2～4 第9回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から1065点(小学校768点、中学校297点)の応募。(北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」)
日本ユネスコ協会連盟会長賞「旧配水塔」高岡市立下関小学校5年 大林弥飛
富山ユネスコ協会会長賞「市電開業100周年」富山市立堀川小学校5年 堀峰貴
氷見ユネスコ協会会長賞「僕の大好きなししまい」氷見市立窪小学校3年 河森晃
南砺ユネスコ協会会長賞「武者絵」南砺市立福野中学校3年 神林みゆ

- 2014(H26). 11. 1～3 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 794 点（小学校 44 校 560 点、中学校 25 校 234 点）の応募。（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
 日本ユネスコ協会連盟会長賞「とやまのかもしか」富山市立老田小学校 1 年 牧野虎太郎
 富山ユネスコ協会会長賞「環水公園の船」富山市立藤ノ木中学校 1 年 村田梓織
 氷見ユネスコ協会会長賞「オニバスとハス」氷見市立朝日丘小学校 6 年 高嶋勇大
 南砺ユネスコ協会会長賞「あさぼらけ」南砺市立吉江中学校 3 年 黒川瑠乃
- 2015(H27). 11. 6～8 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 854 点（小学校 46 校 502 点、中学校 33 校 352 点）の応募。（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
 日本ユネスコ協会連盟会長賞「歴史ある町並み」富山市立八尾中学校 2 年 忠地侑実
 富山ユネスコ協会会長賞「緑いっぱい え顔いっぱい」富山市立倉垣小学校 3 年 安藤百奏
 氷見ユネスコ協会会長賞「美しい雨晴の風景」氷見市立十三中学校 3 年 林嵩喜
 南砺ユネスコ協会会長賞「イオックスアローザで楽しいスキー」
 南砺市立福光中部小学校 3 年 五天結子
 美しい富山湾クラブ会長賞「なめり川のネブタ流し」滑川市立北加積小学校 1 年 原心美
- 2016(H28). 11. 11～13 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 934 点（小学校 55 校 589 点、中学校 32 校 345 点）の応募。カザフスタンユネスコ協会連盟主催による絵画展においてファイナリストに選ばれた、昨年の本絵画展に出品した 5 名の特別表彰式も同時開催（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
 日本ユネスコ協会連盟会長賞「輝き続ける御車山」高岡市立下関小学校 6 年 高島吉平
 富山ユネスコ協会会長賞「お地ぞうさまいっぱい！」富山市立五福小学校 3 年 丸山杏
 氷見ユネスコ協会会長賞「勇壮な獅子舞」氷見市立北部中学校 2 年 毛利文香
 南砺ユネスコ協会会長賞「利賀村に古くから伝わる民謡」南砺市立利賀中学校 3 年 長谷千里
 美しい富山湾クラブ会長賞「ホタルイカ！と山わんのたからもの」
 富山市立豊田小学校 2 年 西田和音
 「受け継がれる名勝」高岡市立伏木中学校 2 年 米田萌華
- 2016(H28). 11. 25～「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展の優秀作品を射水市小杉展示館で展示紹介
- 2017(H29). 11. 10～12「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 985 点（小学校 55 校 615 点、中学校 32 校 370 点）の応募。（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
 日本ユネスコ協会連盟会長賞「石畳のある風景」高岡市立芳野中学校 2 年 林岸主真
 富山ユネスコ協会会長賞「よたか祭り」富山市立老田小学校 4 年 牧野虎太郎
 氷見ユネスコ協会会長賞「カシラが顔を見合わせている姿」氷見市立北部中学校 1 年 紅出彩華
 南砺ユネスコ協会会長賞「さかさ合掌」南砺市立平中学校 3 年 石井要
 美しい富山湾クラブ会長賞「海王丸」高岡市立野村小学校 5 年 高田徳清
 「近くから見た、神楽橋」射水市立新湊南部中学校 1 年 フェルナンデス・アイカズミ
- 2017(H29). 11. 25～「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展優秀作品を射水市小杉展示館で展示紹介
- 2018(H30). 11. 2～4 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 966 点（小学校 54 校 537 点、中学校 32 校 429 点）の応募。（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
 日本ユネスコ協会連盟会長賞「彫金師のお父さん」高岡市立平米小学校 1 年 和田すず音
 富山ユネスコ協会会長賞「高岡御車山」高岡市立高岡西部中学校 2 年 高橋想汰
 氷見ユネスコ協会会長賞「ぎおんまつり」氷見市立湖南小学校 1 年 戸川藍
 南砺ユネスコ協会会長賞「合しょうづくり」上市町立上市中央小学校 2 年 山崎朝陽
 美しい富山湾クラブ会長賞「海王丸」富山市立保内小学校 6 年 下尾彩花
 「私たち街の港 生地漁港」黒部市立高志野中学校 2 年 島明未佳

- 2018 (H30). 11. 25～「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展優秀作品を射水市小杉展示館で展示紹介
- 2019 (R01). 11. 1～4 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 894 点（小学校 46 校 450 点、中学校 35 校 444 点）の応募。（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
日本ユネスコ協会連盟会長賞「キラリとセントラム」富山市立堀川南小学校 5 年 王藝璇
富山ユネスコ協会会長賞「早川こどもみこし」
富山大学人間発達科学部附属中学校 1 年 岡田悠煌
氷見ユネスコ協会会長賞「上日寺大銀杏」氷見市立西條中学校 3 年 森寺一華
南砺ユネスコ協会会長賞「五箇山合掌造り」
富山大学人間発達科学部附属中学校 1 年 山口泰成
美しい富山湾クラブ会長賞「ぼくのすきなうみ」高岡市立戸出西部小学校 1 年 八田晋一
「富山の宝物」富山市立東部中学校 1 年 島田侑
- 2019 (R01). 11. 22～「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展優秀作品を射水市小杉展示館で展示紹介
- 2020 (R02) 年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2021 (R03). 11. 12～14 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展、県下の小中学校から 570 点（小学校 19 校 306 点、中学校 23 校 264 点）の応募。（北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」）
日本ユネスコ協会連盟会長賞「旧伏木銀行」高岡市立伏木中学校 3 年 梶川恵那
富山ユネスコ協会会長賞「かぼちゃ電車」片山学園中学校 3 年 小野まりあ
氷見ユネスコ協会会長賞「姥谷のおおつばき」氷見市立北部中学校 2 年 田中仁湖
南砺ユネスコ協会会長賞「五箇山合掌集落の夏」富山市立堀川小学校 6 年 小島諒
美しい富山湾クラブ会長賞「夕日にかがやく海王丸」射水市立新湊小学校 6 年 岡田心音
「繋げたい景色」氷見市立西條中学校 1 年 濱谷海実
- 2021 (R03). 11. 18～「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展優秀作品を射水市小杉展示館で展示紹介

4. 6. 8 書きそんじハガキ回収編

日本ユネスコ協会連盟が実施している世界寺子屋運動は、1987 (S62) 年のマイケルジャクソン来日時への支援申し出（衣装のオークションや来日記念メダルの売り上げ一部寄付）や、読売新聞連載漫画の「コボちゃん」の中で 1 年間「識字」「非識字」の言葉を使ってもらうなどして 1 億円の原資ができたのが始まりです。それをもとに、1990 (H2) 年の国連の定めた国際識字年を契機として「世界寺子屋運動」を立ち上げました。

富山ユネスコは、1990～1992 年に書きそんじハガキ回収を実施しましたが、その後中断していました。2003 年に日本ユネスコ協会連盟主催のユネスコ運動 D プロジェクト（世界寺子屋運動を学び、パソコンでリーフレットを作成し、書きそんじハガキを回収する）に富山市立熊野小学校、私立龍谷富山高等学校が参加したことから再開し、それ以降継続して実施しています。2012 年より、多数の役員がキャンペーン活動に参加する方式に変更しています。

- 2012 (H24). 12～2013. 03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：26,783 枚、換算金額：1,199,361 円。協力校：小学校 80 校、中学校 33 校、高校 13 校、特別支援学校 6 校、保育園 22 園、幼稚園 4 園、企業・団体等 19 件など。多数の役員がキャンペーン活動に参加する方式に変更。
- 2013 (H25). 01. 19 日本ユネスコ協会連盟評議員会で松波会長が「書きそんじハガキ活動内容・秘訣」を紹介
- 2013 (H25). 12～2014. 03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：28,348 枚、換算金額：1,278,640 円。協力校：小学校 84 校、中学校 27 校、高校 9 校、特別支援学校 6 校、保育園 22 園、幼稚園 4 園、企業・団体等 17 件、企業・団体等 19 件など。

- 2014(H26).12～2015.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：30,351枚、換算金額：1,381,573円。協力校：小学校79校、中学校25校、高校13校、特別支援学校6校、保育園23園、幼稚園5園、企業・団体等8件など。
- 2015(H27).12～2016.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：30,736枚、換算金額：1,405,410円。協力校：小学校92校、中学校26校、高校11校、特別支援学校8校、保育園23園、幼稚園5園、企業・団体等14件など。
- 2016(H28).12～2017.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：29,872枚、換算金額：1,378,368円。協力校：小学校93校、中学校33校、高校10校、特別支援学校8校、保育園23園、幼稚園6園、企業・団体等17件など。
- 2017(H29).12～2018.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：25,566枚、換算金額：1,193,519円。協力校：小学校92校、中学校33校、高校7校、特別支援学校7校、保育園22園、幼稚園5園、企業・団体等12件など。
- 2018(H30).12～2019.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：20,480枚、換算金額：1,025,369円。協力校：小学校83校、中学校24校、高校6校、特別支援学校8校、射水市内保育園・幼稚園21園、北陸電力グループ、北陸電力労働組合、法人会員など。
- 2019(R01).12～2020.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：21,857枚、換算金額：1,146,762円。支援先：カンボジア・アンコール寺子屋プロジェクト他、協力：小学校82校、中学校27校、高校2校、特別支援学校6校、北陸電力グループ、北陸電力労働組合、法人会員、各種団体など。
- 2020(R02).12～2021.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン。回収枚数：16,439枚、換算金額：877,702円。支援先：カンボジア・アンコール寺子屋プロジェクト他、協力：小学校81校、中学校27校、高校4校、特別支援学校7校、北陸電力グループ、北陸電力労働組合、法人会員、各種団体など
- 2021(R03).12～2022.03 「書きそんじハガキ回収」キャンペーン

4. 6. 9 ユネスコスクール ESD 部会編

県や市の教育委員会とも連携のうえ、ESDの普及促進を目指した諸活動や、ユネスコスクールの支援を行っています。

- 2012(H24).06.11 富山市立堀川小学校、富山市立光陽小学校、富山国際大学付属高等学校がユネスコスクールに加盟承認
- 2012(H24).07.18 堀川小学校のユネスコスクール加盟記念集会で認定証の授与。
古田顧問と水上副会長出席
- 2012(H24).10.05 ESD実践発表/富山ESD講座(中央小)、古田顧問・水上副会長が参加
- 2012(H24).10.16 ESD実践発表/富山ESD講座(寒江小)、古田顧問・水上副会長が参加
- 2012(H24).10.23 光陽小学校と富山国際大付属高校にユネスコスクールのプレートの贈呈。
松波会長と水上副会長が出席
- 2012(H24).11.14 ESD実践発表/富山ESD講座(光陽小)、古田顧問・水上副会長が参加
- 2012(H24).11.16 ESD実践発表/富山ESD講座(五福小)、古田顧問・水上副会長が参加
- 2012(H24).11.22 ESD実践発表/富山ESD講座(堀川小)、古田顧問・水上副会長が参加

- 2013(H25).01.27 ESD 富山シンポジウム、テーマ「地域資源の活用による持続可能な社会づくり」
対象者；ESDに関心のある教員、教育者関係、保護者や子ども
内容；基調講演(1)(2)・事例発表・意見交換・質疑応答（富山ファミリーパーク）
- 2013(H25).02.02 五福小学校授業参観後、保護者を対象としたESDの取り組み報告と講演会
「書きそんじハガキのパワー」と題して水上副会長講演
- 2013(H25).02.13～15 「ESDパスポート」事業の開始に向け、ユネスコスクールの小・中・高の各1
校に対して事業の説明と意見交換
- 2013(H25).03.06 富山市教委と富山県教委に「ESDパスポート」を説明
- 2013(H25).05.13～14 市内ユネスコスクール6校を訪問し、
日本ユネスコ協会連盟で検討中の資料「ユネスコESDパスポート実施要項」を説明
- 2013(H25).06.23 東京での「ユネスコESDパスポート」全国キックオフ会議に、
中央小、五福小、堀川小から3名の先生方が参加
- 2013(H25).07.22～23 参加ユネスコスクール6校を訪問し
「UNESCO ESD PASSPORT」、「ユネスコ協会ESDパスポート事業要項」を配布
- 2013(H25).09初旬 「ユネスコESDパスポート」に、新たに3校参加申込、パスポート配布
- 2013(H25).10初旬 「ユネスコESDパスポート」参加9校に中間アンケート実施集約
- 2013(H25).12.25 「ユネスコESDパスポート」情報交換会実施（CiCビル学習室5）
- 2013(H25)年度 富山市立古沢小学校がユネスコスクールに認定（2013年）
- 2014(H26).02.27 高岡市立成美小学校がユネスコスクールに認定
- 2014(H26).03 「ユネスコESDパスポート」実施状況等の25年度分集約、
「ユネスコESDパスポート」ボラン認定証の発行（認定者4校57名）
- 2014(H25)年度 富山市立神通碧小学校がユネスコスクールに認定（2014年）
- 2014(H26).06.13 成美小に「ユネスコスクールプレート」を贈呈。高桑会長と水上副会長が訪問
- 2014(H26)年度 2014「ユネスコ寺子屋プロジェクト」リーフレットコンテストで富山市立蝸川小学
校6年生が最優秀賞を授賞
- 2014(H26).07.10 ユネスコスクール9校に26年度パスポート配付（942冊）
水上副会長が神通碧小、高桑会長が中央小や堀川小などを訪問
- 2014(H26).08.01 平和の鐘を鳴らそう運動 ユネスコスクール児童生徒の会場設営や受付ボランティアとして参加
- 2014(H26).09.01 北陸ESD推進コンソーシアムに加盟 北陸3県の関係機関が連携し、ESDを推進す
ることを目的とする。
- 2014(H26).10～H26.11 県内参加10校に「ESDパスポート」中間アンケート実施集約
- 2015(H27).01.24 ESD 富山シンポジウム（富山市ファミリーパーク自然体験センター）
富山県内の小学校の全ユネスコスクール9校（中央小、寒江小、五福小、堀川小、光陽小、
古沢小、神通碧小、朝日丘小、成美小）が参加した子どもたちが主体のシンポジウムに。
富山県ユネスコ連絡協議会が共催。
富山県ユネスコ連絡協議会からは発表参加の子どもと引率の先生に、ユネスコのロゴマー
ク入りのクリアファイルと缶バッジを参加記念としてプレゼント
中央小5年生6名が、受付ボランティアとして協力
古田顧問・松波顧問・水上副会長・定村事務局長が参加
- 2015(H27).01.24 富山ESD講座運営委員会（富山市ファミリーパーク）古田顧問・水上副会長が参加
- 2015(H27).02.04 日本ユネスコ協会連盟の寺尾事務局長が、堀川小学校を訪れて4・5・6年生に「ユ
ネスコ」についての講演。松波顧問より「書きそんじハガキ」と「募金」を頂いた事に対し
て感謝状贈呈

- 2015(H27).02 「ユネスコ ESD パスポート」実施状況等の 26 年度分集約
- 2015(H27).03 「ユネスコ ESD パスポート」ボラン認定証の発行（認定者 8 校 182 名）
- 2015(H27).05.08 富山 ESD 講座運営委員会（富山市役所）、古田顧問・水上副会長が参加
- 2015(H27).06.15 国際理解ワークショップ事前打ち合わせ（富山国際大付属高校）、水上副会長が参加
- 2015(H27).06 ユネスコスクール 10 校に 27 年度パスポート配付（891 冊）
- 2015(H27).08.01 平和の鐘を鳴らそうキャンペーンでのユネスコスクール 3 校の運営ボランティア
- 2015(H27).08.03 環境教育プログラム作成・計画支援（神通碧小・楡原中）、水上副会長が参加
- 2015(H27).08.10 東海北陸ユネスコスクール交流会（金沢都ホテル）、水上副会長が参加
- 2015(H27).09.11 カンボジア事務局長訪問案内（蛭川小）、松波顧問・水上副会長・定村事務局長が参加
- 2015(H27).09.18 文化祭/講演会参加（富山国際大付属高校）、水上副会長が参加
- 2015(H27).09.19 国際理解ワークショップ支援（富山国際大学付属高校）、水上副会長が参加
- 2015(H27).09.19～23 ユネスコ科学フェスティバルにおいて、ユネスコスクール 5 校の運営ボランティア
- 2015(H27).10.02 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（神通碧小）、水上副会長が参加
- 2015(H27).10.05 陸前高田広田小学校との交流計画支援（誠美小）、水上副会長が参加
- 2015(H27).10.30 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（堀川小）、水上副会長・高木副会長が参加
- 2015(H27).11.13 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（誠美小）、水上副会長が参加
- 2015(H27).11.17 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（光陽小）、松波顧問・水上副会長が参加
- 2015(H27).11.20 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（五福小）、古田顧問・水上副会長が参加
- 2015(H27).11.30 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（成美小）、水上副会長が参加
- 2015(H27).12.05 ユネスコスクール全国大会（昭和女子大学-東京）、水上副会長・高木副会長が参加
- 2016(H28).01.23 ESD 富山シンポジウム（富山市体育文化センター）
 テーマ：「富山から発信する ESD ～ユネスコスクールで育つ子どもたち～」
 県内のユネスコスクール 9 校、122 名の子どもたちが参加
 富山県ユネスコ連絡協議会は発表した子どもと引率の先生に対して、記念としてユネスコのロゴマーク入りのクリアファイルと缶バッチをプレゼント。
 光陽小の児童が受付ボランティア。富山ユネスコ協会の活動をブースで紹介
- 2016(H28).01.23 富山 ESD 講座運営委員会（富山市文化センター）、古田顧問・水上副会長が参加
- 2016(H28).01.31 ユネスコ協会 ESD パスポート次年度実施要項検討委員会（日本ユネスコ協会連盟事務局、東京）、水上副会長が参加
- 2016(H28).02.18 子どもが輝く授業ワークショップ（名古屋市）、水上副会長が参加
- 2016(H28).02 「ユネスコ ESD パスポート」実施状況等の 27 年度分調査集約
- 2016(H28).03 「ユネスコ ESD パスポート」ボラン認定証の発行（認定者 8 校 301 名）
- 2016(H28).05 ユネスコスクール 10 校にパスポート配付（777 冊）
- 2016(H28).05.27 富山 ESD 講座運営委員会（富山市役所）、水上副会長・高木副会長が参加
- 2016(H28).06.30 出前講座「ライフワークとしてのユネスコ活動」（楡原中）、水上副会長が参加
- 2016(H28).07.31 「平和の鐘を鳴らそう in 上行寺」運営ボランティア小中学生 28 名
- 2016(H28).08.01 平和の鐘を鳴らそうキャンペーン富山城址公園でのユネスコスクール 3 校の運営ボランティア
- 2016(H28).08.04 東海北陸ユネスコスクール交流会（金沢都ホテル）、水上副会長が参加
- 2016(H28).09.10 ユネスコ協会 ESD パスポート新規参加ユネスコ協会説明会（日本ユネスコ協会連盟事務局 東京）、アドバイザーとして水上副会長が参加
- 2016(H28).09.17～19 ユネスコ科学フェスティバル 2016 において
 ユネスコスクール 4 校の運営ボランティア
- 2016(H28).12.03 ユネスコスクール全国大会（金沢大学）
 古田顧問・松波顧問・水上副会長・高木副会長・澤田理事が参加

- 2016(H28).12.13 国際理解教育の情報提供「アートマイルについて」(楡原中)、水上副会長が参加
- 2016(H28).12.15 出前授業「世界寺子屋運動」(五福小)、高桑会長・水上副会長が参加
- 2016(H28).12.20 ユネスコスクール説明(中央農業高校)、水上副会長が参加
- 2017(H29).01.28 ESD 富山シンポジウム(富山市体育文化センター)
 県内のユネスコスクール9校と、加盟申請中の3校、156名の子どもたちが参加
 富山ユネスコ連絡協議会は、発表した児童生徒と神通碧小のボランティアの子どもたちに、
 ユネスコ協会のロゴマーク入りのクリアファイルと缶バッジをプレゼント
- 2017(H29).01.28 富山 ESD 講座運営委員会(富山市体育文化センター)
 水上副会長・高木副会長が参加
- 2017(H29).01~H29.03 「ユネスコ ESD パスポート」
 実施状況等の28年度分調査集約、ボラン認定証の発行(認定者8校143人)
- 2017(H29).02.01 富山市立楡原中学校、南砺市立福野小学校がユネスコスクールに認定
- 2017(H29).03.10 神通碧・楡原中合同研修会(神通碧小)、水上副会長が参加
- 2017(H29).05 ユネスコスクール11校にパスポート配付(628冊)
- 2017(H29).05.17 富山 ESD 講座委員会(富山市役所)、水上副会長・高木副会長が参加
- 2017(H29).06.09 研究発表会(富山大附属中)、水上副会長・高木副会長が参加
- 2017(H29).06.23 富山 ESD 講座(神通碧小)、水上副会長が参加
- 2017(H29).07.22 平和の鐘を鳴らそう in 上行寺 運営ボランティア活動26名(神通碧小、楡原中)
- 2017(H29).08.01 平和の鐘を鳴らそうキャンペーンユネスコスクール4校の運営ボランティア
- 2017(H29).09.09 会員交流会で、研修部会の高木副会長から ESD への取り組み説明と、
 「(仮称)ユネスコ教室」の新たな提案
- 2017(H29).09.16~18 ユネスコ科学フェスティバル、ユネスコスクール6校の運営ボランティア
- 2017(H29).09.27 出前授業「世界寺子屋運動」(奥田北小)、水上副会長が参加
- 2017(H29).11.24 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座(五福小)、水上副会長が参加
- 2017(H29).11.29 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座(堀川小)、水上副会長・高木副会長が参加
- 2018(H30).01.27 ESD 富山シンポジウム(富山市体育文化センターサブアリーナ)
 富山県のユネスコスクール12校から124名の子どもたちが参加
 富山ユネスコ協会は定村事務局長が書きそんじハガキキャンペーンの取り組みを紹介し、
 協力を呼びかけ、富山ユネスコ協会の活動をブースで紹介する。
 富山県ユネスコ連絡協議会から発表した子どもたちに、ユネスコ協会のロゴマーク入りの
 クリアファイルと缶バッジ、とやまの水をプレゼント
- 2018(H30).01.27 富山 ESD 講座運営委員会(富山市体育文化センター)、水上副会長・高木副会長が参加
- 2018(H30).02~H30.03 実施状況の調査集約、ボラン認定証の発行(認定者8校118名)
- 2018(H30).05.23 富山 ESD 講座運営委員会(富山市役所)、高木会長・水上副会長が参加
- 2018(H30).06.8 富山 ESD 講座(神通碧小)、水上副会長が参加
- 2018(H30).06 ユネスコスクール11校にパスポートの配付(424冊) ※全参加人数1,335名
- 2018(H30).07.25 『第1回ユネスコ教室』を実施。「コインでつなぐ平和の鐘」を題材に平和学習。
 富山市内のユネスコスクールを含め5校の応募児童15名が参加(富山県教育記念館)
- 2018(H30).07.29 平和の鐘を鳴らそう in 上行寺 運営ボランティア活動32名(神通碧小、楡原中)
- 2018(H30).07 富山市立奥田北小学校がユネスコスクールに認定。
- 2018(H30).08.06 北信越ユネスコスクール交流会(金沢市)、水上副会長が参加
- 2018(H30).11.16 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座(五福小)、水上副会長が参加
- 2018(H30).11.27 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座(堀川小)、高木会長・水上副会長が参加

- 2018(H30).12.01 「第2回ユネスコ教室」を開催(堀川小)
 参加:富山市内ユネスコスクールの小学生25名、中学生3名
 内容:世界寺子屋運動の概要を理解し、パソコンを活用して書きそんじハガキ等の回収をよ
 びかけるリーフレット作りを行う
- 2019(H31).01.26 SDGs/ESD 富山シンポジウム(富山市体育文化センターサブアリーナ)
 2018年度に富山市がSDGs未来都市に選定された事や、2019年度から日本ユネスコ協会連
 盟の取組みが「ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」に変更された事から、シ
 ンポジウム名称変更、「ユネスコスクールの子どもたち」をテーマに県内12小中学校105
 名の発表会(総勢約400人参加)
 富山ユネスコ協会も活動紹介、ユネスコクイズ、ぶんぶんごま作りのブース出展
 富山県ユネスコ連絡協議会から発表した子どもたちに、クリアファイルと缶バッジをプレゼント
 運営ボランティア25名(堀川小・中央小・光陽小・五福小・楡原中)
 松波顧問、高木会長、定村事務局長、水上副会長、城野理事、牧野理事が参加
- 2019(H31).01.26 富山ESD講座運営委員会(富山市体育文化センター)、高木会長・水上副会長が参加
- 2019(H31).03 30年度分のボラン認定証・バッチの発行は無し(30ボラン達成申請連絡2校)
- 2019(R01).05.23 富山ESD講座運営委員会(富山市役所)、高木会長・水上副会長が参加
- 2019(R01).05 中部地域ESD活動推進拠点に登録 学校現場や社会教育の現場で取り組んでいる
 ESDを様々な形で支援する。
- 2019(R01).06.07 富山ESD講座(神通碧小)、水上副会長が参加
- 2019(R01).07.09 出前授業「コインでつなぐ平和の鐘」(新庄北小)、水上副会長が参加
- 2019(R01).07.28 平和の鐘を鳴らそう in 上行寺 運営ボランティア活動20名(神通碧小、楡原中)
- 2019(R01).08.01 平和の鐘 運営ボランティア活動15名(中央小、五福小、堀川小、光陽小、富大附属中)
- 2019(R01).08.05 出前授業「世界寺子屋運動」(堀川小)、水上副会長が参加
- 2019(R01).08.08 北信越ユネスコスクール交流会(金沢勤労者プラザ)、水上副会長が参加
- 2019(R01).09.21~23 科学フェスティバル、
 運営ボランティア活動24名(堀川小、中央小、光陽小、五福小、富大附属中)
- 2019(R01).11.14 出前授業「ユネスコ委員会の活動について」(光陽小)、水上副会長が参加
- 2019(R01).11.22 講話「書きそんじハガキで学びのチャンスを」(五福小)、水上副会長が参加
- 2019(R01).11.30 第3回ユネスコ教室開催。(堀川小 情報教育室)
 講師:深井美和(富山市教育センター所長代理)
 参加者:富山市ユネスコスクール児童生徒28名(小学生26名、中学生2名)
 参加校:中央小、五福小、光陽小、堀川小、楡原中
 内容:世界寺子屋運動の学習と書きそんじハガキ回収等を呼びかける「リーフレット作り」
- 2019(R01)年度 富山大学人間発達科学部附属中学校がユネスコスクール承認返上申請
- 2020(R02).01.25 SDGs/ESD富山シンポジウム(富山市ファミリーパーク)
 県内ユネスコスクールの小学校8校、中学校1校、高校1校の計10校が参加
 富山ユネスコ協会は活動内容のパネル展示、ユネスコクイズなど行う
 富山県ユネスコ連絡協議会から、発表した児童生徒にクリアファイルと缶バッジをプレゼ
 ント、富山ユネスコ協会の参加者は、高木会長、水上副会長、長田副会長、浅野副会長、
 定村事務局長、牧野理事
- 2020(R02).01.25 富山ESD講座運営委員会(富山市アミリーパーク)高木会長、水上副会長が参加

- 2020(R02).01～2021.03 2013 年度から GAP（グローバルアクションプログラム）の一環として行ってきた「ユネスコ協会 ESD パスポート」は 2019 年度の GAP の最終年を機に 2020 年度より「ユネスコ協会 SDGs パスポート」として各協会の独自活動となる。これに対応し、富山ユネスコ協会用「SDGs パスポート」を作成、ユネスコスクールに説明し、2020 年度からの準備実施
- 2020(R02).11.28 第 4 回ユネスコ教室開催（zoom 活用）
 講師：倉垣小学校深井美和校長、富山国際大学松山友之准教授
 参加者：富山市内ユネスコスクール等児童生徒 15 名
 協力：富山大学成瀬喜則教授、富山国際大学子ども育成学部学生 10 名
 内容：1 限目「世界寺子屋運動～書きそんじハガキを集めて役立てよう」
 2 限目「環境問題に SDGs で取り組もう」
- 2020(R02).12.02 ESD 実践発表/富山 ESD 講座（神通碧小）、水上副会長が参加
- 2021(R03).01 SDGs-ESD シンポジウム 新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2021(R03).02.19 富山 ESD 講座運営委員会（オンライン会議）、水上副会長が参加
 ユネスコ協会 SDGs パスポートの活用について説明する。
- 2021(R03).04.17 富山 ESD 推進会議発足 地域 ESD 拠点としての活動の充実を図る。
- 2021(R03).05.18 出前授業「天湖森について」（神通碧小）、水上副会長が参加
- 2021(R03).05.20 授業補助（神通碧小）、水上副会長が参加
- 2021(R03).05.26 富山 ESD 講座運営委員会（オンライン会議）、水上副会長が参加
- 2021(R03).06.09 平和の出前授業（奥田北小）、水上副会長が参加
- 2021(R03).06.17 平和の出前授業（奥田北小）、水上副会長が参加
- 2021(R03).07.20 平和の出前授業（奥田北小、オンライン）、
 宍戸課長（日本ユネスコ協会連盟）・高木会長・水上副会長・浅野副会長が参加
- 2021(R03).07.31 平和の鐘を鳴らそう in 上行寺 運営ボランティア活動 31 名（神通碧小、楡原中）
- 2021(R03).08.01 平和の鐘キャンペーンで、奥田北小が学習の成果をビデオで発表
- 2021(R03).10.01 ESD 実践発表会/富山 ESD 講座（神通碧小）、水上副会長が参加
- 2021(R03).11.27 第 5 回ユネスコ教室（オンライン）、9 名参加、呉羽小学校深井校長を講師とし世界寺子屋運動に関する学習と書きそんじハガキ回収のリーフレット作り、協力/富山大成瀬教授・富山国際大松山教授・国際大学学生、高木会長・水上副会長が参加

4. 6. 10 会員の交流編

（会員交流会、富山県・中部西ブロック活動研修会、ユネスコ全国大会）

2011 年度まで、講演を主体とした定例会を行っていましたが、2012 年以降は、会員間の情報交換の場となるように開催形態を変えて「会員交流会」として実施しています。

また、他協会との交流の場として富山県ユネスコ連絡協議会やユネスコ中部西ブロック活動研修会を、それぞれ持ち回りで実施しています。

ユネスコ全国大会は、全国各地で開催されてきましたが、2020 年度より、各ブロック持ち回りで 1 日開催での実施となりました。

2012(H24).08.25 富山県ユネスコ活動研修会（とやま市民交流館）

講演：「世界寺子屋運動の内外状況」日本ユネスコ協会連盟 教育文化事業部長 寺尾明人氏
 氷見ユ協・富山ユ協より書きそんじハガキ回収活動報告

2012(H24).09.15～16 第 68 回日本ユネスコ運動全国大会 in 高松（香川県県民ホール）古田顧問参加
 テーマ：つなげよう平和の心 築こう平和の文化—地域から世界へ、大切なを守るために—
 基調講演：東日本大震災を通して見た日本人の美德／黛まどか（俳人）

- 2012(H24). 10. 27～28 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 in 氷見（氷見市いきいき元気館）
 来賓：富山県教育委員会寺林教育長・氷見市堂故市長、
 テーマ：「地域に根ざしたユネスコ活動」
 基調講演：「文化遺産としての越中万葉」 万葉歴史館館長 坂本信幸
 発表：「朝日丘小学校・ESDの歩み」
 「青少年活動」「世界遺産・地域遺産活動」「地域ユネスコ活動」の3分科会
 関係者など282名（富山ユネスコから21名）が参加
- 2012(H24). 12. 01 会員交流会、城野実井子中央小学校校長の歌唱指導で「ふるさと空」を合唱
 ユネスコ活動について意見交換（県民会館、参加19名）
- 2013(H25). 08. 31 富山県ユネスコ活動研修会（氷見市いきいき元気館）、来賓：氷見市本川市長、
 講演：ユネスコ協会とユネスコスクールとの連携とESDパスポートの活用/松波孝之
 ユネスコスクールの10の質問・事例・資料集/日ユ 古澤真理子
 事例発表：朝日丘小学校/山本教諭、中央小学校/宮原教諭
 五福小学校/麻生教諭、堀川小学校/山口教諭
- 2013(H25). 09. 14～15 第69回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京（めじろパーシモンホール）古田顧問参加
 テーマ：東日本大震災から2年半が過ぎて「ユネスコ運動が発信する未来に向けたメッセージ」
 基調講演：次世代に引き継ぐ魅力あるユネスコ活動の展開に向けて
 /松田昌士日本ユネスコ協会連盟会長
 特別講演：私たちが次世代につなげ、残すべきこと/千玄室 UNESCO 親善大使
- 2013(H25). 10. 26～27 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 in 金沢、150名参加
 研究テーマ「地域ユネスコの目指すところ」
 基調講演：「金沢とユネスコ～伝統と創造のまちづくり～」(前金沢市長 山出保氏)
 実践報告3件及びパネルディスカッション
- 2013(H25). 12. 07 会員交流会、カンボジアスタディツアー報告/松波会長、「書きそんじハガキキックオフ」
 (CiCビル学習室、富ユ21人・氷ユ6人・ユネスコスクール3校の先生4人の計31人が参加)
- 2014(H26). 6. 7～8 第70回日本ユネスコ運動全国大会 in 知床
 (国立公園指定から50年、来年世界自然遺産登録から10年)
 テーマ：「持続可能な社会の構築をめざしてー知床に集おう！ユネスコの英知ー」
- 2014(H26). 08. 30 会員交流会、ESDパスポートプロジェクト事例紹介/松波顧問、ユネスコスク
 ールへの出前授業について/水上副会長、(CiC学習室5、17名が参加)
- 2014(H26). 11. 24 氷見ユ協創立40周年記念式典 兼 富山県ユネスコ活動研修会(氷見水産センター)
 講演「ユネスコ活動とESD」講師：日本ユネスコ協会連盟事務局長 寺尾明人氏
- 2014(H26). 11. 29～30 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 in 福井（参加者94名）
 基調講演 持続可能な漁業を目指してー「日本の魚はいつまで食べられる？」
 講師 三重大学生物資源学部准教授、海の幸を未来に残す会理事 勝川敏雄氏
 活動事例発表：①勝山市立村岡小学校小林一与教諭、②福井県池田町農事組合法人農村資源
 開発共同体ファームハウス責任者沢崎美加子氏、③岐阜県ユネスコ協会（日本ユネスコ協
 会連盟 全国的青年連絡組織副会長）石川航、④富山市立堀川小学校柴山秀範教諭
 2日目「ESDパスポートプロジェクト活動事例紹介」日本ユネスコ協会連盟理事 松波孝之氏
 「ESDの理念とビジョン」日本ユネスコ協会連盟理事長 野口昇氏
 「ESDの実践とビジョン」 福井大学准教授 前園泰徳氏

- 2014(H26). 12. 06 会員交流会 (CiCビルとやま市民交流館、27名参加)
 講演：ミャンマーの文化学ぶ
 ヤンゴン大学講師・富山大学薬学部研究員、ヌウェ・ヌウェ・ウィン
 報告：世界で最も美しい湾クラブ加盟／高桑会長
 書きそんじハガキキックオフ
- 2015(H27). 06. 6～7 71回日本ユネスコ運動全国大会in和歌山(和歌山市民ホール、澤田みや子理事参加)
 テーマ：『持続可能な平和のために！』～“会話”を広げるユネスコ～
 特別講演：「宇宙と子どもと平和」松本零士
- 2015(H27). 08. 29 富山県ユネスコ活動研修会 兼 富ユ会員交流会 (CiCビル学習室) 27名参加
 講演「美しい富山湾クラブの進捗状況」高桑会長 (美しい富山湾クラブ事務局長)
 講演「北陸ESD推進コンソーシアムとユネスコ活動について」松本謙一氏
 (富山大学人間発達科学部教授、北陸ESD推進コンソーシアムESD推進コーディネータ)
 ESDパスポートについて 水上副会長
 その他：天空の杜プロジェクトの進捗状況
- 2015(H27). 10. 31～11. 01 中部西ブロック ユネスコ活動研究会 in 大垣 (富ユから7名参加)
 テーマ：「ESDの更なる推進—民間ユネスコ協会と地域の連携—」
 基調講演：「ESDの基礎と発展」日本ユネスコ協会連盟副理事長鈴木佑司氏
 大谷博信理事が世界遺産「五箇山相倉合掌造り集落茅場の下草刈り」の取組説明
- 2015(H27). 12. 05 会員交流会 (CiC 学習室)
 部会報告：学生ユネスコ弁論大会/寺西理事
 部会報告：絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展/佐竹委員
 書きそんじハガキキャンペーンのキックオフ
- 2016(H28). 06. 25～26 72回日本ユネスコ運動全国大会in沖縄(沖縄コンベンションセンター)
 テーマ：「持続可能な平和のとりでを築こう！」～命どう宝～
 特別講演、パネルディスカッション「語り継ぐ平和」
- 2016(H28). 08. 11 会員交流会 (CiC 学習室)、
 部会報告：書きそんじハガキ／澤田理事、国際交流フェスティバル/河原副会長
- 2016(H28). 09. 25 富山県ユネスコ活動研修会、「なんと国際交流フェスティバル」の視察研修 (富ユ6名参加)
- 2016(H28). 11. 19～20 中部西ブロック ユネスコ活動研究会 in 名古屋 約160名参加、富ユは5名が参加
 テーマは「世界寺子屋運動とESD」
 基調講演：「Peace for Tomorrow—学ぶ機会をすべての人に—」川上千春日本ユネスコ協会連盟事務局長
 全体会では「ユネスコ協会の寺小屋運動活動事例」の発表3件、内1件は、長尾恒憲理事が
 「書きそんじハガキ活動と天空の杜プロジェクト」の取組発表
 (書きそんじハガキ活動⇒天空の杜プロジェクト⇒スタディツアーと繋がった)
- 2016(H28). 12. 04 会員交流会 (CiC 学習室)
 カンボジアスタディツアー参加報告／金沢兼資 (学生ユネスコ弁論大会高校生の部1位)
 部会報告：平和の鐘を鳴らそう運動／高寺政守理事、ユネスコ科学フェスティバル／植田理事
 書きそんじハガキ回収キャンペーンキックオフ
- 2017(H29). 07. 15～16 73回日本ユネスコ運動全国大会in仙台(仙台国際センター)
 高木副会長、松波顧問、定村事務局長が参加
 テーマ：「発祥の地仙台から世界へ～UNESCO憲章の精神を世界に～」
 特別講演：UNESCO憲章の理念を未来に
 講師：ラジェンドラ・クマール・パチャウリ氏 (ノーベル平和賞受賞者)

- 2017(H29).08.06 富山県ユネスコ活動研修会、場所/氷見市赤毛の西念寺
 研修会講話：「浅野総一郎とユネスコ」、講師/NPO 九転十起交流会理事長 山崎健氏
- 2017(H29).09.09 会員交流会、「(仮称)ユネスコ教室」の新たな提案を受け意見交換(環日本海交流会館)
- 2017(H29).10.28~29 中部西ブロックユネスコ活動研究会 in 三重 102名参加(伊勢シティホテル)
 高桑会長、松波顧問が参加
 基調講演 「ユネスコの理念と現代社会の課題」/日本ユネスコ協会連盟鈴木佑司理事長
 事例発表、民間ユネスコ運動70周年ビジョンの説明等
- 2017(H29).12.02 会員交流会
 講演：富山の歴史と魅力とは一富山の成り立ち(富山とは) /越中史壇会会長 米原寛先生
 書きそんじハガキキックオフ
- 2018(H30).06.09 会員交流会(CiC3階 会議室)
 カンボジア寺子屋運動モニタリングツアー報告/高木会長
- 2018(H30).07.7~8 74回日本ユネスコ運動全国大会in函館(函館市芸術ホール)松波顧問が参加
 テーマ：ひろげよう平和・共生のこころ ~北の大地から次世代へ~
 基調講演：アイヌ文化に見る生命・環境・平和の潮流/石森秀三 北海道博物館館長
- 2018(H30).11.10~11 中部西ブロックユネスコ活動研究会 in 南砺(兼 富山県ユネスコ活動研修会)
 テーマ：持続可能な社会と環境の実現に向けて 今、私たちができること
 報告：今みどり(日本ユネスコ国内委員)、長坂朋美(青年評議員)
 基調講演：浅井孝司(九州大学国際交流推進室特任教授)
 事例発表：福野小学校、楡原中学校、国際大付属高等学校等
- 2018(H30).12.01 会員交流会(CiCビル3階学習室1・2・3)
 講演：「ユネスコ無形文化遺産 高岡御車山祭」/高岡御車山会館学芸員、中村知子
 意見交換：今年度の実施事業を振り返って/各部会長
 「書きそんじハガキ回収キャンペーン」キックオフ
- 2019(R01).08.31 富山県ユネスコ活動研修会 兼 会員交流会(CiCビル3階)
 ユネスコ活動について(ビデオ上映)
 講演：「城端曳山祭について」/城端景観・文化保全機構代表理事 松平保夫氏
 3協会の活動内容紹介
- 2019(R01).09.7~8 第75回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京(豊島区立目白小学校)
 高木会長、松波顧問が参加
 テーマ：“世界寺子屋運動30周年記念” 「学びを通して地域を振り返る」
 サブテーマ：「寺子屋での学びがもたらしたものー成果と展望をめぐって」
 基調講演：「SDGs 実現に向けた識字・NFEの役割」
 元ユネスコ生涯学習研究所専門家 ウルリケ・ハネマン氏
 パネルディスカッション：世界寺子屋運動とSDGs、高木会長がパネラーとして参加
 サブテーマ：「学びを通して共生社会を創る」
 特別講演：「2019 寅さんの学校論」/山田洋次監督
 パネルディスカッション：「新しい学びのあり方を地域から発信するには？」
- 2019(R01).11.09~10 中部西ブロックユネスコ活動研究会 in 金沢(ANAクラウンプラザホテル金沢)
 テーマ 地域ユネスコ協会から世界へ発信~SDGsの実現に向けた具体策の提言~
 基調講演：「SDGsを行動につなげるために」永井三岐子 UNU-IAS OUIK 事務局長
 (国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット)
 高木会長・松波顧問・高桑顧問・水上副会長・長田副会長・定村事務局長が参加

- 2019(R01). 11. 30 会員交流会 (C i Cビル3階 学習室 1, 2, 3)
講演：「ユネスコ無形文化遺産魚津たてもん祭り」／諏訪神社宮司 武田邦浩氏
書きそんじハガキ回収キャンペーンなど
- 2020(R02). 07. 04 第76回日本ユネスコ運動全国大会 in 宇部 新型コロナウイルス感染症対応で中止
2020(R02). 08. 29 富山県ユネスコ活動研修会 (氷見市社会福祉会館)
講演：「世界1周の船旅を終えて」／上杉 靖賢 氷見ユネスコ協会常任理事
活動紹介：県内3ユネスコ協会から活動内容を紹介
- 2020(R02). 11. 07 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 in 福井
新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2020(R02). 11. 28 会員交流会 (富山県教育記念館)
講話：「ユネスコスクールへの活動支援…楡原中学校区の書きそんじハガキ回収」 水上副会長
書きそんじハガキ回収キャンペーンキックオフ
- 2021(R03). 06. 26 会員交流会(環日本海交流会館大会議室)
各事業の報告 弁論大会部会、科学フェスティバル部会、ユネスコスクール部会、下草刈り部会、絵画展部会、書きそんじハガキ回収部会、平和の鐘を鳴らそう部会
- 2021(R03). 09. 25 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 (多治見)
新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2021(R03). 11. 04 富山ユネスコ70周年式典 兼 富山県ユネスコ活動研修会
新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 2021(R03). 12. 05 「第77回日本ユネスコ運動全国大会 in 大阪」(桃山学院教育大学)
テーマ：「いのち輝く持続可能な世界を繋ぐ～大阪から世界へのメッセージ～」
パネルディスカッション「誰ひとりとり残さない社会の構築」
初のライブ視聴を含めたハイブリッド方式による開催
(会場には近畿ブロックの会員約160人が参加し、近畿外はYouTubeライブ視聴)

4. 6. 11 広報編

2011年度まで、「富山ユネスコ」や「協会便り」の編集発行は北陸電力に委託していましたが、2012年度から、編集はユネスコ直営で行う事となりました。また、2020年度より北陸電力グループ会社の会員にはグループ内通送で協会誌をお届けしていましたが、通常の一般メール便に変更となったことから、ユネスコ便りの発行を年2回から1回に変更しました。

なを、ホームページの変更は随時おこなっています。

- 2012(H24). 03 富山ユネスコ協会便り No. 48 発行
2012(H24). 06 富山ユネスコ第53号 発行
2012(H24). 09 富山ユネスコ協会便り No. 49 発行
2013(H25). 03 富山ユネスコ協会便り No. 50 発行
2013(H25). 06 富山ユネスコ第54号 発行
2013(H25). 09 富山ユネスコ協会便り No. 51 発行
2014(H26). 03 富山ユネスコ協会便り No. 52 発行
2014(H26). 05 ホームページ刷新。現在のデザインに変更
2014(H26). 06 富山ユネスコ第55号 発行
2014(H26). 09 富山ユネスコ協会便り No. 53 発行
2015(H27). 06 富山ユネスコ第56号 発行

2015(H27).03 富山ネスコ協会便り No. 54 発行
 2015(H27).09 富山ネスコ協会便り No. 55 発行
 2016(H28).03 富山ネスコ協会便り No. 56 発行
 2016(H28).06 富山ネスコ第 57 号 発行
 2016(H28).09 富山ネスコ協会便り No. 57 発行
 2017(H29).03 富山ネスコ協会便り No. 58 発行
 2017(H29).06 富山ネスコ第 58 号 発行
 2017(H29).09 富山ネスコ協会便り No. 59 発行
 2018(H30).03 富山ネスコ協会便り No. 60 発行
 2018(H30).06 富山ネスコ第 59 号 発行
 2018(H30).09 富山ネスコ協会便り No. 61 発行
 2019(H31).03 富山ネスコ協会便り No. 62 発行
 2019(R01).06 富山ネスコ第 60 号 発行
 2019(R01).09 富山ネスコ協会便り No. 63 発行
 2020(R02).03 富山ネスコ協会便り No. 64 発行
 2020(R02).06 富山ネスコ第 61 号 発行
 2020(R02).12 富山ネスコ協会便り No. 65 発行
 2021(R03).05 富山ネスコ第 62 号 発行
 2021(R03).12 富山ネスコ協会便り No. 66 発行

4. 6. 12 人物往来他

2012(H24).01.20 布橋灌頂会のユネスコプロジェクト未来遺産登録証の授与式に松波会長が出席
 (立山町役場、登録決定は H23.12)

2013(H25).09.09 「天空の杜プロジェクト」の調印式。日本ユネスコ協会連盟と㈱富山環境整備が協働で、貧困層の病人や子供たちの命と健康を守ることを目的として、カンボジア国シェムリアップ州の 4 つの病院と 15 村の寺子屋に対して行う国際協力。内容 ; 「天空の杜」水を 155 万本提供、太陽光パネルを用いた井戸水の浄化装置、教育教材の作製と配布。出席者 : 富山環境整備㈱ 松浦社長, 日本ユネスコ協会連盟 寺尾事務局次長、ブッタカンボジア事務所長, 富山ユネスコ 松波会長, 富山市役所 住田上下水道局長(富山市池多の富山環境整備ボトリング工場)

2013(H25).11.19~26 カンボジアスタディツアー。

内容 ; ①寺子屋や小学校を訪ね富山の子どもたちからのメッセージを伝え交流

②ユネスコ世界遺産の視察と修復現場で歴史・文化を学ぶ

③地雷博物館などで戦争の悲惨さと平和への営みを学ぶ

④天空の杜プロジェクトの開始式に参列

参加者 ; 松波孝之会長、飯田國彦副会長、水上庄子副会長、高桑幸一副会長、

定村仁志事務局長、長尾恒憲理事、澤田みや子理事、浜手基親(氷見ユネスコ協会理事)

2014(H26).01.12 元副会長奥澤利治理事 逝去 享年 82 歳

2014(H26).04.28 元会長森本芳夫顧問 逝去 享年 98 歳

2014(H26).09.21 松波顧問が第 5 回布橋灌頂会に参加

(2011 年 12 月にユネスコプロジェクト未来遺産に登録)

2014(H26).6.7~8 70 回日本ユネスコ運動全国大会 in 知床において、古田暉彦顧問全国大会 10 回出席者表彰を受ける(氷見ユネスコ協会坂本会長ご夫妻も同じ)

- 2014(H26).10.18 「世界で最も美しい湾クラブ」総会が韓国麗水市で開催され、高桑幸一会長が県ユネスコ連絡協議会会長、県セーリング連盟理事長として出席
- 2015(H27).04.18 飯田国彦副会長が、広島市への転居により退任
「平和の鐘を鳴らそう運動」の実行委員長としてその運営に寄与。
広島で生存する数少ない被爆者として原爆を知らない世代に体験を語る活動をされる。
- 2015(H27).09.09 ポック・ソバーン（日本ユネスコ協会連盟カンボジア事務所職員）氏が富山市婦中町吉谷の富山環境整備本社を訪問、（日本ユネスコ協会連盟の宍戸亮子氏同行通訳）
- 2015(H27).09.10 ポック・ソバーン氏によるカンボジアでの寺子屋運動の現状報告会。参加者；富山ユネスコ協会、氷見ユネスコ協会のメンバーやユネスコスクールの富山国際大学附属高校の生徒ら 27 名。（C i Cビルとやま市民交流館会議室）
- 2015(H27).09.11 ポック・ソバーン氏が富山市立蜷川小学校を訪問し、6年生に出前授業
- 2016(H28).01.24 小沼茂理事逝去 享年 82 歳
書きそんじハガキ回収で、その依頼と回収に学校へ出向き対話を重ね理解を求めるという“小沼方式”を開発・実践
- 2016(H28).04.29 長島勝治理事 危険業務従事者叙勲/瑞宝双光章（警察功労）受章
- 2016(H28).11.30 富山県内の「高岡御車山祭の御車山行事」「魚津のタテモン行事」「城端神明宮祭の曳山行事」3 件を含む「山・鉾・屋台行事」33 件が一括してユネスコ無形文化遺産に登録
- 2017(H29).08.21～09.01 金沢兼資君が、石川ユネスコ主催の第 17 回ベトナム・カンボジアスタディツアーに参加（ユネスコ便り 60 号に報告寄稿）
- 2017(H29).11.03 水上庄子副会長 秋の叙勲/瑞宝双光章（教育功労）受章
- 2017(H29).11.03 平木弘理事、長尾恒憲理事 危険業務従事者叙勲/瑞宝双光章（警察功労）受章
- 2017(H29).11 福野夜高祭が ユネスコプロジェクト未来遺産に登録決定
- 2018(H30).03 高木会長が日本ユネスコ協会連盟のカンボジアモニタリングツアーに参加（6 月会員交流会で報告）
- 2018(H30).08 「平成 30 年 7 月豪雨」被災地（岡山県、広島県、愛媛県）へお見舞
- 2019(H31).02.10 小中勉元理事 逝去 享年 86 歳
- 2019(R01).05.01 野上正毅理事 高齢者叙勲/瑞宝小綬章（教育功労）受章
- 2019(R01).9.7～8 75 回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京において、松波顧問が全国大会 10 回出席者表彰を受ける
- 2020(R02).01.19 酒井信行元監事 逝去 享年 80 歳
- 2021(R03).11.22 古田暉彦元会長より寄付金 100 万円、特別勘定「青少年育成基金」に繰り入れ
- 2021(R03).12.01 高木要志男会長が日本ユネスコ国内委員に就任

富山ユネスコ70年への歩み — 至近10か年 —

2022(令和4)年3月 発行

編集・発行 富山ユネスコ協会

会長 高木 要志 男



〒930-0002 富山市新富町1丁目2番3号

C i Cビル3階「とやま市民交流館」内

Tel : 090-2092-6001

E-mail : tomiyukyou@etude.ocn.ne.jp

←URL : <https://www.unesco.or.jp/toyama>

印刷

とうざわ印刷工芸株式会社